

済生

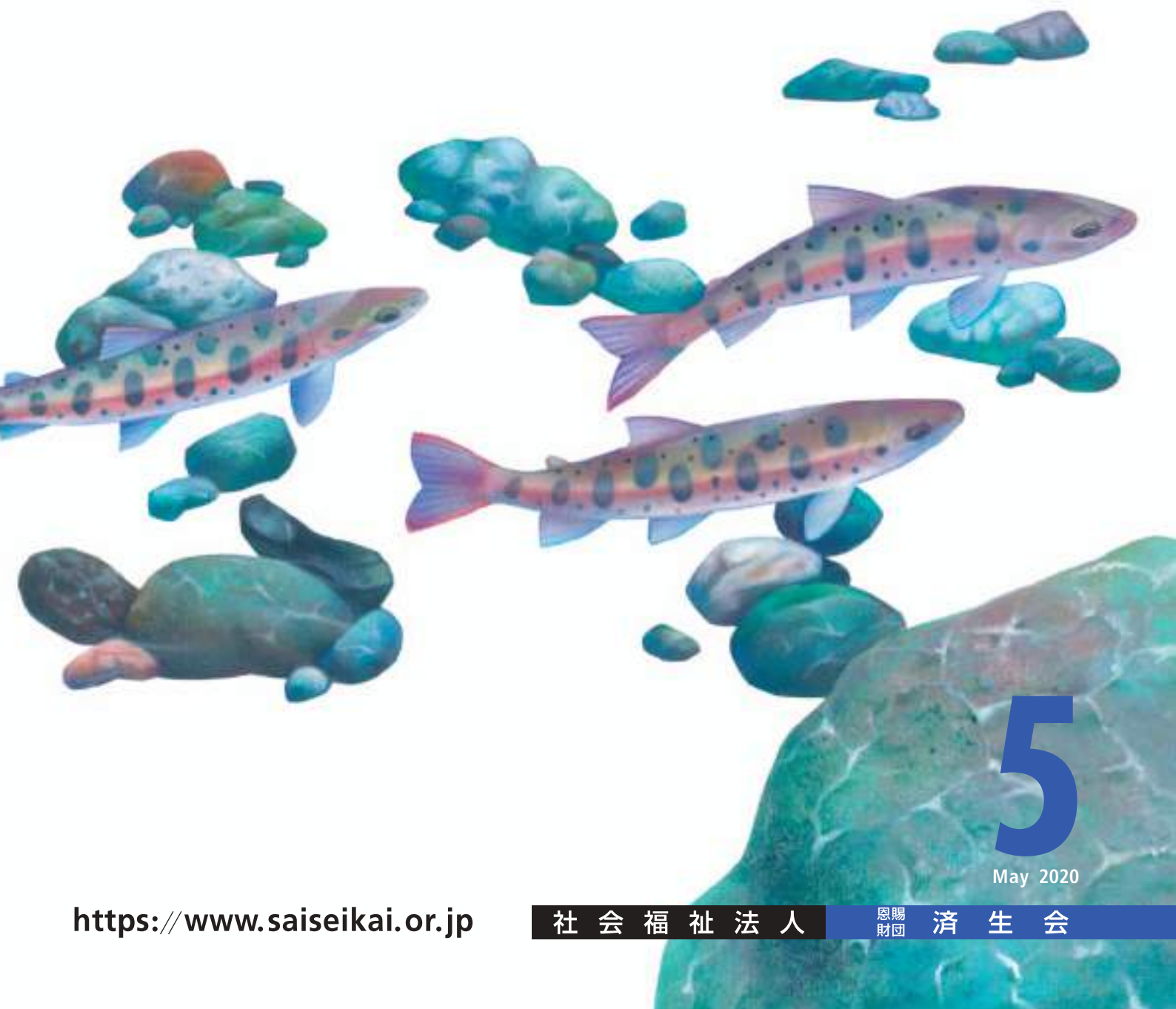
SAISEI

THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

No.1091

コロナに克つ!

新型コロナウイルスへの恐怖の中、
済生会人は使命感で戦い続ける



5

May 2020

<https://www.saiseikai.or.jp>

社会福祉法人

恩賜
財団

済生会

よろこびがつなぐ世界へ

KIRIN

この香りに
きつと驚く。

新 FIRE

直火
珈琲



済生会の 不易流行論

理事長 炭谷 茂

Shigeru Sumitani

組織の本質が現れるとき

マ

スクはいつ入る？」

3月中旬の週末、マスクを買うためドラッグストアやコンビニを渡り歩いた。すべて無駄足だった。それに増して気分を損ねたのは、店員のぞんざいな応対ぶりだった。木で鼻をくくったような冷淡な答えが返っ

てくる。この店では二度と買うまいと思った。最大手のコンビニの店舗で法外な値段でマスクを販売したことが発覚したが、起こっても不思議でない。

中には「個数は限られますが、○日の○時ごろ棚に並べる予定です」と丁寧に応えてくれた店

があった。店員教育が徹底している。この店舗が、急成長しているのも理解できる。

4月7日、新型コロナウイルスに対応するため、法律に基づき緊急事態宣言が発出された。新型コロナウイルスの感染の拡大が阻止できるかは、国や自治体の取り組みはもとより、国民をはじめ企業、団体、学校などすべての者の協力が大切だ。

緊急事態宣言発出後、都内の歩行者や車は、減少した。飲食店の玄関に臨時休業の張り紙も見られた。本稿執筆時（4月23日）では、国民の協力はかなり行き届いているように見えるが、私の住む住宅地のスーパーマーケットや公園は平常時の倍以上の混雑で、新たな問題が生じている。また、国民の自粛だけでこの難局を乗り切れるほど新型コロナウイルスは甘くないのではない。

大正7年に発生したスペイン

風邪の猛威は、日本では3回流行を繰り返し、患者2400万人、死亡者40万人に及び、終息するまで3年間を要した。妻の曾祖父がスペイン風邪で亡くな

ったというが、国民を奈落の底に落とした。

グローバル化が進んだ現代では、地球のどこかで感染地域がある限り、新型コロナウイルスは流行を繰り返すので、長期戦への覚悟が必要だ。

☆ ☆

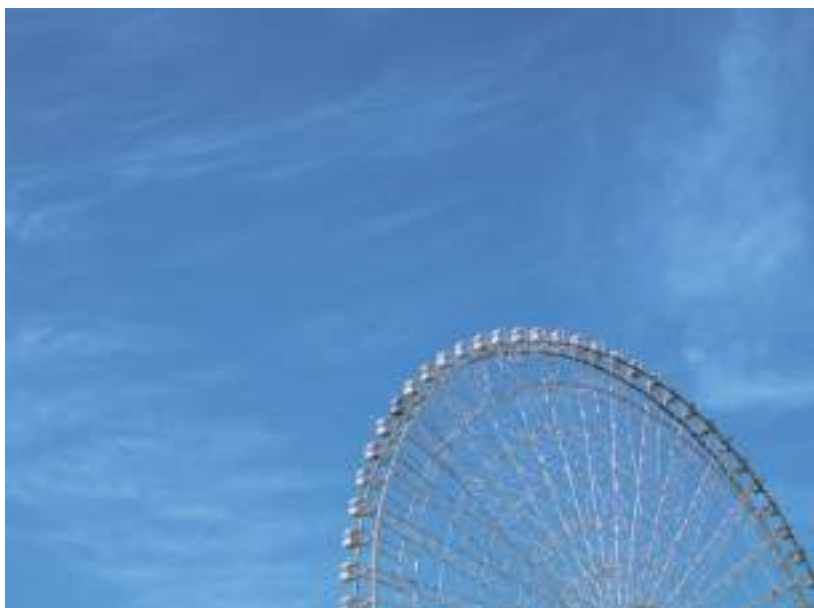
今、日本は、終戦以来の最大の危機に直面している。世界経済は、1929年の世界恐慌に匹敵するとIMF専務理事は予測する。豊かさに慣れ切った日本人の生活は、転換を余儀なくされる。

困難な状況下こそ組織の本質が表面化する。国民の不安を逆手に取って儲けようとする企業などが現れる。多くの政治家や識者などによって市場原理主義の徹底や株主利益優先が主張されてきた時代で、利益追求に集中する企業や団体の活動が目立った。このままで未曾有の国難を乗り越え、国民の幸せを保つことができるだろうか。

こんな時こそ済生会は、創設の理念を再確認し、国民のために地道に尽くしていく心意気を持ち続けたいものである。

不易流行（ふえきりゅうこう）：不易は永遠性、流行はその時々の新風をいい、芭蕉が俳諧思想を表現するときに用いた。

済生会は長い歴史で醸成された価値を大切に、時代の変化に適応していかなければならない。



済生

SAISEI

MAY, 2020

C O N T E N T S

NEWSな済生人

- 細井崇弘さん** 病院と在宅の“二刀流”でまちづくりに取り組む総合診療医 06
〈茨城〉神栖済生会病院 内科医長

新型コロナウイルス との闘いの記録

コロナに克つ! 新型コロナウイルスへの恐怖の中、 済生会人は使命感で戦い続ける

〈大阪〉中津病院／〈香川県済生会病院〉／〈茨城〉神栖済生会病院／〈三重〉明和病院／〈栃木〉宇都宮病院／〈福岡〉大牟田病院／〈滋賀〉守山市民病院／〈山形〉特養ながまち荘／〈福井〉老健ケアホーム・さいせい／〈鳥取〉老健はまかぜ／〈愛媛〉今治老健希望の園／〈神奈川〉わかさ保育園／〈静岡〉伊豆医療福祉センター／〈愛媛〉西条病院／〈岩手〉陸前高田診療所

済生会交差点

【地域で育てる】新しい家で生活スタート。6人の若い芽、すくすくと育て!／
【スポーツリハビリ】合言葉は「絶対に復帰するぞ!」選手の背景まで丸ごと支える／
【与薬時の確認】確実な内服を目指して「処方確認シート」を導入／
【なでしこ患者支援センター】支部内連携強化で地域包括ケアを推進

巻頭コラム 済生会の不易流行論

組織の本質が現れるとき 理事長 炭谷 茂 03

5月のたよりが聞こえる ― ヤマメ

表紙のことば 久保田真由美 05

国際交流 27

無低 & なでしこプラン 27

なでしこナースのストーリー

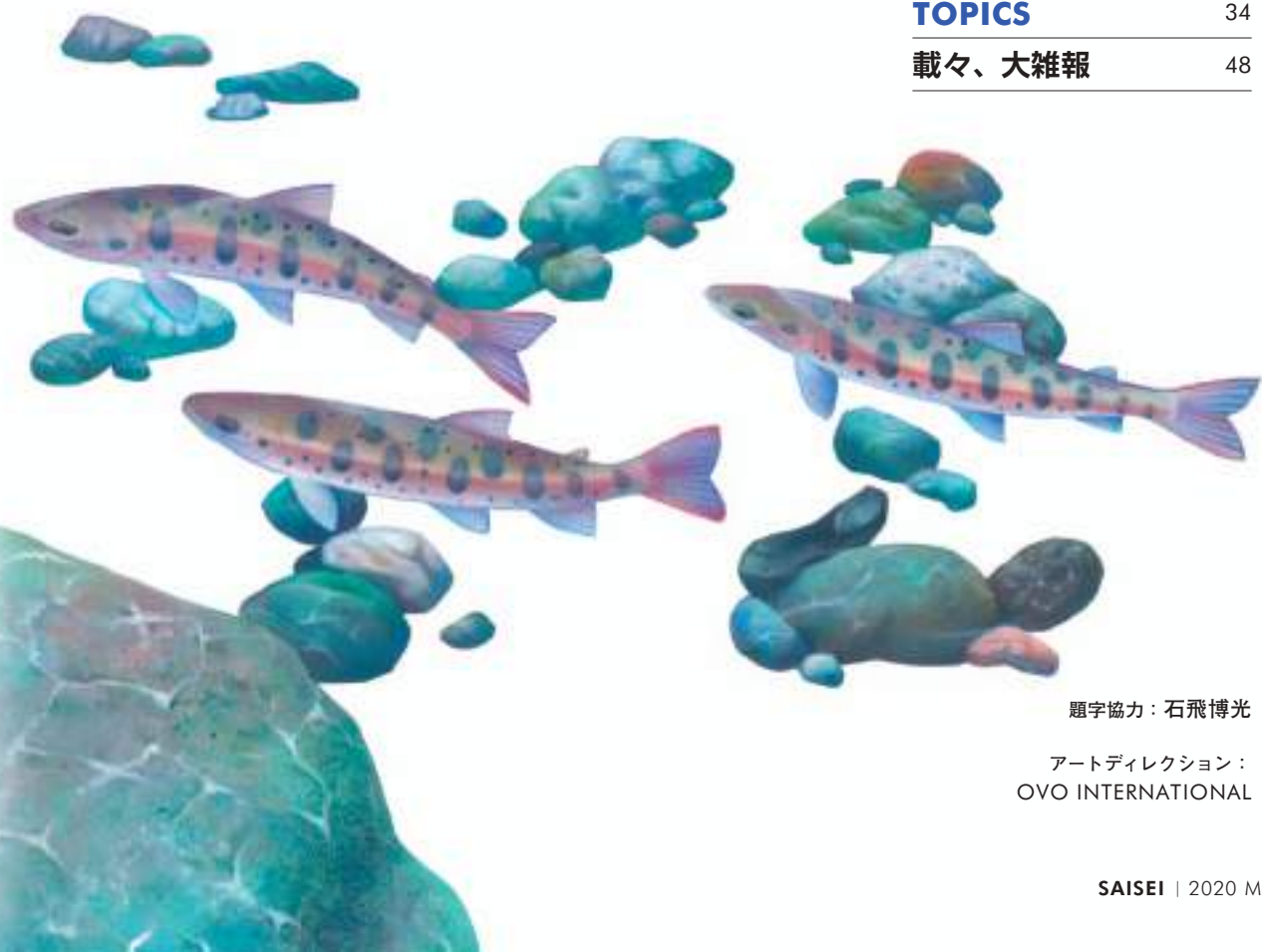
この人 田中 泯 28

口福にっぽん 吉井省一 30

だれでもかんたん てづくりおもちゃ
いまいみさ 32

TOPICS 34

載々、大雑報 48



題字協力：石飛博光

アートディレクション：
OVO INTERNATIONAL



初

対面の釣り人とよく交わす会話がある。「始めたきつかけは？」「父親の影響で……」。筆者も同様だ。我が子にも一生の趣味を持たせたかったのか、単にカミさんの小言が嫌で子どもをだしにしたのか、いずれにしても、父が話していたことを思い出す。

「ヤマブキの花が咲くと魚がよく釣れる」。ヤマブキは5〜6月に日本各地で黄色い花をつける落葉の低木。水温が上がって魚の活性が高まるのだ。父がよく狙っていたのがヤマメ。サケ目サケ科で成魚の大きさは20〜30センチ。河川の上流域に生息し、銀色の体にパーマークという黒い楕円状の斑点模様の姿が美しい。「溪流の女王」とも呼ばれ、イワナと並ぶ溪流ファンの人気ターゲットだ。もう一つ、父の言葉がある。「山と川の恵みに感謝して自然の命を美味しくいただくこと」。子どものころ、同じ仕掛けで同じような淵

で狙っても、父はよく釣るのに、私はハヤやウグイなど外道ばかり。ヤマメは特に警戒心が強く、人影があると岩陰に潜んでしまうからだ。経験の差と言えばそれまでだが、理由は父の言葉の「感謝の心」にあったような気がする。数が釣れても持ち帰るのは家族が食べる分だけの父。私には全部釣ってやるとの欲があって、その「殺気」が竿と糸を通じてヤマメに伝わっていたのかもしれない。

ヤマメのもう一つの姿が、サクラマス。餌を捕食できない弱いヤマメが仕方なく川を下って海に出たら、大きくなれた。体長70センチ、顔つきも別人、いや別魚。淡水から海水に適応しなければならぬのだから相当な苦労はあったのだろう。

若者の「海外渡航離れ」について、法務省の統計がある。1996年の463万人をピーク以降、右肩下がり。最近持ち直してはいるが2018年は338万人。筆者も若い部類のつもりだが、「若者よ。サクラマスのように世界の荒波にもまれて強くなれ！」

(K)

表紙のことば

清流の色・音・香り

表紙イラスト 久保田真由美 Mayumi Kubota

前に進む一步を踏み出すのが難しく感じるときは溪谷に行きたくなります。春ならば風にゆれ、輝く若葉と緑の香り。遠くで近くで鳥のさえずりが聞こえ、暖かい陽射しを受け岩をよけ石をなでな

がら光を反射して流れる川を見ていると、心の中のモヤモヤも流れていきます。そのままでもいい、そのままでもいい。川のせせらぎを聞き、流れに任せて心を泳がせたら元気になります。

大切なのは、病気だけでなく 患者さんを取り巻く 「社会」もみること

NEWSな済生人 Interview

人口10万人当たりの医師数が埼玉県に次いで2番目に少ない茨城県。県南部の利根川沿い一帯は特に医療者不足が深刻です。この地域にある神栖済生会病院の細井崇弘内科医長は、病院での診察をしながら在宅医療も積極的に行なう総合診療医です。人を診るだけでなく、病院から飛び出て行政や市民も巻き込み、住民が安心して暮らせる「まち」をつくろうとしています。その取り組みを聞きました。

(神栖済生会病院 済生記者 谷田 薫)

谷田 済生記者の谷田です。急遽、本部広報室に頼まれて細井先生にインタビューします。変な緊張感がありますが……(笑)

細井 記者さんですか、お手柔らかにお願いしますよ。地域連携室にいる、いつもの谷田さんでお願いします(笑)

谷田 はい。さて、いま世界中の医療者が新型コロナウイルスに立ち向かっています。当院でも発熱トリアージを実施、細井先生にも、駐車場待機していただいている患者さんのもとに向いて問診してもらっています。先生は病院での診療のほかに在宅医療にも携わっています。きっかけはなんですか。

細井 私は、医師になって10年、在宅医療に携わって5年になります。初期臨床研修後は、筑波大学地域医療教育学講座(前野哲博教授)で総合診療医の訓練を受けました。カリキュラムの一つに在宅医療があり、1年間携わりました。そのとき、自宅で暮

病院と在宅の“二刀流”で まちづくりに取り組む総合診療医

〈茨城〉神栖済生会病院 内科医長

細井崇弘さん

新型コロナウイルス感染防止のため、当分の間、インタビューは当該施設の済生記者が務めます

らす患者さんの生活と人生に触れ、互いに信頼関係を築き二人三脚で治療法やケアを考え選択する在宅医療に魅力を感じました。

谷田 当院に着任した経緯は？

細井 この病院は、その講座の研修施設に指定され、私は専修医として毎週通っていました。ここ県南部の鹿行保健医療圏の医師偏在指数は全国ワースト7位です。当時、当院内科は循環器と消化器の医師が1人ずつ、外科も加え数人で地域医療を支える状態で、まさに総合診療医が活躍できる状態だと思いました。本県出身でもあり、地域を支えたいという気持ちもありました。

谷田 地元にくださって感謝です。在宅医療に取り組み始めたきっかけは？

細井 認知症でADLが低下し自立生活が困難な高齢の男性がいて、「家で過ごしたい」と強く訴えていました。当該地域には訪問診療医が非常に少なく、どの先生も外来で忙しく手が回らない。これは自分で何とかするしかない……。一人で在宅医療を始めると、口コミで広がり、地域のケアマネジャーなどから訪問診療の依頼が増えました。

谷田 入院患者を診ながら訪問診療をするのは大変です。現在の体制は？





細井 総合診療医は私を含め常勤3人、非常勤2人。この5人で月々木曜の午前と午後の計8コマを分担、神栖市全域と、利根川を渡ってお隣の千葉県銚子市周辺の約35〜40人を在宅で診ています。

谷田 総合診療医とはどんな専門医ですか。
細井 総合診療科は、さまざまな疾患の診療にあたる専門科です。例えば腹痛は、消

化器のほかに循環器や婦人科疾患の可能性もあります。臨床所見の細部から情報を手繰り寄せ、考えられる疾患を一つずつ鑑別していきます。最終的に精神科の病気を突き止めることもあります。必要に応じ、他科への橋渡しも総合診療医の役割です。患者さんの全身を幅広く診られる総合診療医がいると、他の領域の専門医の負担軽減や

unnecessary 検査・治療を省くことができ、医療費の削減にもつながります。

谷田 いわゆる「ドクターG（ジェネラル）」ですね。在宅でうまくいった介入例はありますか。

細井 神経難病で寝たきりの患者さん（30代・男性）は姉の結婚式に出たいと望んでいましたが、体調を案じてあきらめかけて



神栖済生会病院の総合診療医。緩和医療、終末期医療、在宅医療にも取り組む





くらしの身近にいて何でも気軽に相談することができる

いました。私は、病状が安定しているので、「参列しませんか?」と提案。訪問看護師・ヘルパー・相談支援員らと協力し、「どの場所でも医療機器の電源が確保できるか」など綿密な計画を立て、希望を叶えることができました。彼はそれを機に生きる意欲が湧き、社会資源を活用して積極的に外出するようにになりました。

谷田 総合診療医は、保健や福祉にもかか

わっているのですね。

細井 患者さんを取り巻く社会的な側面をとらえる視点が重要です。健康格差は、所得・学歴・居住地など社会的要因によって生じるといわれています。糖尿病を例に挙げてみましょう。発症する要因は食事や運動不足だったりしますが、背景に貧困・教育不足があることもあります。その場合、地域社会のシステム、自治体の政策にもかかわっていく必要があります。それはまちづくりにもつながることだと思っています。

人生の最期を考えるイベントを企画立案

谷田 済生会の第2期中期事業計画では、医療福祉サービスを通じた「まちづくりへの寄与」が掲げられています。昨年11月に当院が神栖市や筑波大学などと共催した、市民公開講座「終活フェス」はその実践例といえますね。

細井 「神栖ココでずっと暮らすために——人生の最終段階における医療・ケアにつ



終活フェスでは中高生が演劇「人生会議」を披露

いて考える——というテーマで開かれ、約300人が集まりました。来場者は、終活について医師や弁護士との講演を聞いたり、落語「どうせ死ぬなら楽しく」を楽しんだりしました。当日は清真学園（隣接の茨城県鹿嶋市）の中高生による「人生会議」の演劇もあったのですが、台本は生徒が主体となって一緒に作成、演技も生き生きとしていました。

谷田 企画立案は細井

先生ですが、手応えはどうでしたか。

細井 生徒たちは「とてもいい体験ができた。来年も参加したい!」と話していました。来場者も「自分にとって何が大切か考える機会になった」「内容の濃いことに驚いた」などと好評でした。イベントを通して、地域が変化していく様子が実感できました。新型コロナウイルスの感染の動向次第ですが、今年も11月末に開催予定です。

谷田 中高生にとって、人生の最期や死はむずかしいテーマだったのでは?

細井 いま日本では病院での看取りが多く、死が身近なものではなくなっています。今回中高生を巻き込んだのは、人生の最終段階について考え、命の尊さを理解してほしい

終活は死ぬ時の備えではなく、 自分らしく生ききるための活動



終活フェスの打ち合わせでは生徒から積極的な意見が出た

いと思ったからです。生徒たちも孫として祖父・祖母の人生にかかわっていることを認識してほしかった。彼らが成人したときに、彼らの子どもたちが「おじいちゃんやが大切に思っていることを話して」「おばあちゃんはこのからどんな生活をして人生を終えたいの」と、気楽に話せるような社会になっていればいいですね。

谷田 私自身も人生の最期を迎えたとき、自分がどこでどのような医療ケアを望むか考えようと思います。

細井 国は「人生会議」の普及・啓発に取り組む、終活する人も増えています。人生会議とは「もしものときのためにあなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケア従事者と繰り返し話し合い、共有する取り組み」です。家族みんなで話し合うことに意義があります。自分が受ける医療やケアについて7割の人は意思・希望を伝えることができずに最期を迎えるといわれます。患者本人は、人工呼吸器を使うことなく自然に最期を迎えたいと思っ

ていても、周囲にその意思が伝わってないと、家族は「少しでも長く生きてほしい」と、延命措置を選択する場合があります。

谷田 家族でそれ

【取材を終えて】

神栖地域は医師が少ないけれど、地域で安心して暮らせるために多職種が連携して在宅医療に取り組む、住民の意識啓発活動「終活フェス」も始まりました。それらの活動に当院も総合診療科の強みを生かして

それぞれの意思を確認しておくことが大切なのです。

細井 健康なときにしておきたいことが二つあります。一つは、終末期に受けた治療・ケアについて信頼できる人に話しておく（代理意思決定者を決めておく）。例えば、「静かに生きてそっと死ぬのが自分の生き方。だから人工呼吸器にはつながないほしい」「食事は死ぬまで口で食べたいので胃ろうなどの処置は不要」など。

もう一つは、自分の価値観・人生観を家族や信頼できる人に話しておく。終活は死ぬためにするのではなく、自分らしく生ききるための活動です。私は厚労省の「患者の意向を尊重した意思決定のための研修会」の指導者を務めています。終末期医療に関する患者の相談に、適切に対応できる医療従事者の育成にも努めていきたいと考えています。



病院入口で谷田さん（左）と

参加していることを実感しました。細井先生の「熱い思い」が伝わってきてこれからの活動にさらなる期待が膨らむ取材でした。

（谷田 薫）

新型コロナウイルス
との闘いの記録

コロナに克つ!

新型コロナウイルスによる感染症はパンデミックとなって全世界に広がっています。日本では1月16日に初めて感染者が報告されてから3カ月後の4月16日、全都道府県を対象に緊急事態宣言が発令されました。外出自粛が要請されても感染者の増加は止まらず、死者も増えています。済生会の職員は、治療法が確立されていないウイルスとの戦いの最前線に置かれています。患

者が増大する一方、マスクや防護服など医療物資は枯渇。自身や家族への感染の恐怖、あるいは心ない差別にも直面する中、済生会の施設でも感染の報告が届き、時に気が萎えそうになりながらも「命を守る」という使命感だけで立ち続けています。この戦いは間違いなく歴史に残ります。「済生」は「職員たちの戦いの歴史」を記録していきます。

新型コロナウイルスへの恐怖の中、 済生会人は使命感で戦い続ける



安全心がけ、我々は逃げない!
100人以上診察、受け入れも

〈大阪〉中津病院

当院は大阪府感染症疑似症定点病院であることから、

大阪府の病院では最も早い時期から保健所に協力し、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症に対応してきました。2月上旬から感染疑いの患者さんのPCR検査を含めた診察を担当し、すでに100人以上を診察、さらに受け入れは増えています。2月下旬からは入院患者も引き受けています。原則中等度までの患者さんとしていますが、急速に悪化し重症化する患者さんもあるため、感染症指定病院と密接に連携をとっています。

院内感染防止にも早い時期から取り組んでいます。入院患者への面会の禁止、感染の可能性がある患者診察のための特別外来(呼吸器内科特別外来)の設置、CCU/ICUに隣接した一般



患者さんの病棟は立ち入り禁止

病床の病棟を、感染および感染疑い患者のための専用病棟として運用しています。さらに別の個室専用病棟の一部を独立した形にし、サテライトナースステーションを設け、COVID-19感染症を否定できない患者の鑑別結果が出るまでの専用の仮病棟として運用しています。職員は出勤前に検温し、体調と合わせて所属長に報告。国外



食堂入り口では手指消毒を確実に

旅行の禁止と国内旅行の自粛。職員食堂では入り口での手指消毒を呼びかけ、向かい合っている席を禁止。3人以上での会食や歓送迎会も禁止しています。



ナースステーション

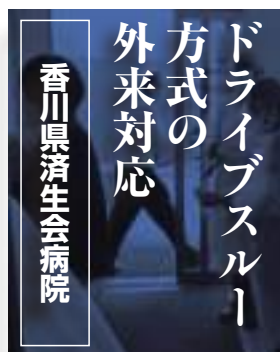
取引先、MR等の外部業者の入館規制を行ない、市民講座など全ての院外を対象としたイベント、集団での勉強会の開催を中止しています。

現時点では、近隣にはCOVID-19感染症から距離を置こうとしている病院も見受けられます。しかし、公立病院と公的病

当院の感染症外来対応は、最小限の設備と資源の中で、安全で確実な方法を検討、時間帯を限定して、ドライブスルー方式で診療を行なっています。

東側出入口横の1室を陰圧診察室に改装し、診察時にはその周辺を封鎖、関係者以外は立ち入れないエリアとしました。必要な時は診察室に近いCT室までをパーテーションで仕切り、汚染の拡散防止とプライバシー確保に努めます。

診察室横に駐車スペースを設け、自家用車で来院した方の待

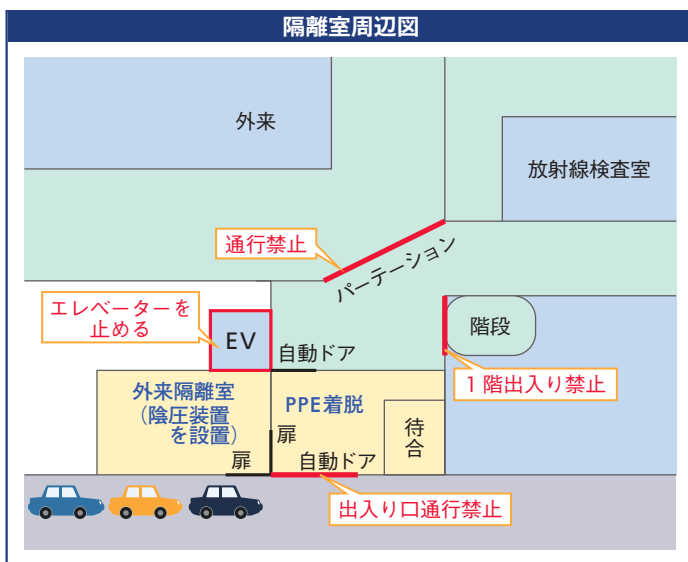


院だけで対応できるはずはなく、いずれより多くの病院が関わらざるを得なくなるだろうと考えています。我々は逃げることなく、我々のできる範囲で、そして何よりも職員の安全に常に心がけながら対応していくことにしています。

(済生記者 久原市子)

機場所とし、乗車したまま受診手続きと聞き取りの問診を行ないます。診察と検査の時のみ診察室および検査室に入ります。対応する職員は防護具を着用し、1人の診察及び検査毎に周辺環境と物品の消毒、手袋交換と手指衛生を徹底します。乗車したまま院内処方を受け、会計までも行ないます。対応する職員は限定し、確実性を維持できるように取り組んでいます。

(感染対策室・副看護師長 森重祥子)





院内ではマスク着用を義務化

医師・看護師が駐車場へ 出向いて診察・問診実施

〈茨城〉神栖済生会病院

毎日、病院正面玄関で幹部職員が来院者全員に検温とコロナウイルス感染者との接触の有無を確認。接触等があった場合は看護師が正面玄関で相談対応し、保健所への連絡や自宅安静等の説明を行なっている。

接触等がなくても発熱、呼吸器症状で診察の希望がある場合は、駐車場の自家用車、または病院車で待機してもらい、車ま

で看護師が行って問診し、必要に応じ医師も出向いて診察を実施している。一般病床と動線を分離した肺炎患者用病床を20床設置し、患者の振り分けを行なっている。

当院の分院「済生会土合クリニック」では、保健所からの要請によりクラスターが発生した近隣施設の利用者、職員へのPCR検査を2回にわたり計33人に対して行なった。

職員は毎朝、検温を実施し、体調を報告。正面玄関での対応結果や感染状況の情報等に関する振り返りは毎夕行なっている。

（済生記者 谷田 薫）

小学生12人を 病院で受け入れ 長期入院者には 面会の特例も

〈三重〉明和病院

2月27日、首相から学校の休業要請が出されたことに伴い、当院グループでは、自宅待機せざるを得ない職員の子ども（小学校1〜4年生）を院内のパレソール（大会議室）で一時的



児童を受け入れた会議室

に受け入れました。

期間は3月3日から19日までの平日13日間で、8時30分から17時まで。一日の流れをできるだけ学校に近づける時間割を作成し、宿題をする勉強時間をはじめDVD観賞、読書、自由時



入院面会申請書と許可証

間などを設けました。紙飛行機やドッジボールは好評で、毎日のように行なわれていました。

毎朝体温測定を行ない、問診票を記入。休憩時間には換気、食事前には手洗い・アルコール消毒を徹底しました。見守りの職員は常時2人体制で、児童は12人、延べ52人でした。

入院の面会は禁止ですが、当院にはリハビリテーション病棟があります。長期入院による衣



玄関ホールで来院者問診



当院の小倉崇以救命救急センター長が4月8日にBS日テレの「深層NEWS」、同9日にフジテレビの「直撃LIVE・グッデイ」に生出演し、医療現場の窮状を訴えました。

重症呼吸不全で注目を集めるECMO（エクモ）治療について「特効薬がないコロナウイルスに対しての耐える治療法。最後の砦とされていますが、基礎疾患があると救命率が下がり、必ず回復できるとは限りません。そもそもECMOを扱える人材

救急医、TV生出演で 医療現場の窮状を訴える 〈栃木〉宇都宮病院

類交換や荷物の持ち込みなどやむを得ない場合、一日の中に三つの面会時間帯を設けて認めました。面会者には許可証を首にかけていただき、職員が目視で確認できるようにしています。

外来で体調不良の場合は、車での待機を要請。看護師が電話で問診し、適否を判断したうえで診察を行っています。

（済生記者 石田真央）

当院でも感染者の発生に備え、以下の対応策を講じています。

①全職員マスクの着用②全職員及び出入業者の検温・体調確認③来院者のアルコール消毒の徹底④定期的な院内消毒（写真右）⑤トリアージ用の専用駐車

新型コロナウイルス 院内感染防止対策 〈福岡〉大牟田病院

が少なく、育成には時間がかかります」などと説明。「すでに医療崩壊の一手手前。医療崩壊を防ぎ、私たちに通常の医療を行なわせてほしい。人が動けばコロナも動くのです」と、視聴者に行動の自粛を強く訴えました。

放送後、「お医者さんが直に伝える言葉は胸に強く響きました」「お医者さん、看護師さんありがとうございます。私は自粛を頑張ります」などSNSで多くの反響がありました。小倉医師は少しでも現在の危機的状況が視聴者に伝わり、感染拡大の抑制につながればと話しています。

（経営支援課 宮崎 彩）



場及びプレハブ設置（写真左）⑥院内掲示による面会禁止と啓発。医療機関でもクラスターが発生していることから、大牟田保健所と感染者受け入れ体制の協議も行ないました。感染者発生の場合は、外来患者を含めた全来院者の検温を行ない、適切なトリアージやゾーニングなど感



染拡大防止の対応を図ります。

院内感染対策室を主体に全職員で新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでいます。

（済生記者 中村 博）

透析患者用に 陰圧個室を確保 〈滋賀〉守山市民病院

帰国者・接触者外来を設置し、保健所と相談しながら時間予約で診察。患者が帰国者・接触者相談センターを適切に利用できるよう、パンフレットを作成し案内しています。

当院は感染指定病院ではなく、透析患者や高齢で状態の悪い入院患者も多いため新型コロナウイルス感染症者の入院は受け入れてできませんが、疑い患者用に陰圧個室1床を確保。当院には120人の入院・外来の透析患者があり、その中から感染疑いのある方が出た場合、この陰圧

個室で透析治療を受けてもらう
ことにしています。

職員に対しては、出勤前後の
体温測定、体調チェックを毎日
実施。発熱時は、感染者との
接触の有無や経過、3密を避け
ていたかなどを確認し、早期の
診療を行なっています。

(済生記者 中嶋元香)

インフル予防策をさらに強化 テレビ電話で家族との会話を

〈山形〉特養ながまち荘

当施設では、新型コロナウイルス
が県内で発生する前から危



機感を持ち、施設や周囲で発生
した場合等に備えて、インフル
エンザ・結核対応マニュアルを
参考に、感染予防マニュアルを
作成しています。マニュアルは
状況（保健所の指示等）に応じ
て検討していく必要があります
が、施設内や関係者に発生した
との想定で、マニュアルに沿っ
て図上訓練を実施しています。

インフルエンザ予防のため面
会自粛と手指消毒・マスク着
用を1月から行なっていました
が、3月から面会は原則禁止と
し、施設内に入る業者や関係者
には、窓口で一人ひとりが必ず

手指消毒・マスク着用・検温を
するよう徹底しています。その
ほか、職員と職員家族の行動歴
（県外に出た際）が分かるよう
届け出用紙を作成し、活用して
います。

面会制限の長期化に伴う対策
としてテレビ電話Skypeを使
った態勢を整えました。ご家族
のパソコンやスマートフォンな
どと施設の端末を接続し、顔を
見ながら入居者と話すことがで
きます。また、設備のないご家
族には、当施設に来訪してい
ただき別室からつなぎます。

こうした様々な対策を積み重
ね、入居者の方々の生活を守っ
ていきたいと思っています。

(主任看護師 丹野美智代)

タブレット面会で 涙

〈福井〉ケアホーム：さいせい

当施設では2月下旬から面会
を制限していますが、利用者
さんやご家族から顔が見られな
いことに不安の声が多く寄せら
れています。特に認知症の方は、
ご家族に会えないと食事を拒否

する方もいます。

そのため、4月中旬からタブ
レットを使用したテレビ電話で
の面会を開始しました。久しぶ
りに顔を見て話ができたことで、
利用者さん、ご家族ともに涙さ
れる場面もありました。

感染症が収束するまではこの
ような形の面会を継続し、今後
ご自宅や遠方の家族とも面会が
できるよう検討していきます。

(支援相談員 橋爪 睦)





画面越しの会話でも楽しそう

〈鳥取〉老健はまかせ

当施設では3月から面会を制限。4月からはテレビ電話での面会を始めました。

家族と会えないことでストレスを感じる入所者さんも出てきて、体調への影響も懸念され始めました。そこで、少しでも家族とのつながりを感じてもらおうと、タブレットを使ったテレビ電話での面会を始めたのです。入居者さんご家族も最初こそ戸惑いが見られましたが、何度か経験するうちに慣れてきた様子。今では画面に映るお互いの顔を見ながら自然に会話できるようにになり、とても楽しそうにお話しされています。

（済生記者 松本 大）

高い意識で 致命的リスク避ける

〈愛媛〉今治老健希望の園

当園は、入所事業、通所事業があり事業ごとに次のような感



②各送迎車は午前と午後1時に車内清掃、消毒実施。

各職員は▽職員から感染が出た場合、施設が致命的リスクを負うことを自覚し、中心地など感染者が多い地域には行かない▽密閉空間・密集場所・密接場所（3密）を避けた行動を取る——など感染への高い意識を持って過ごしています。

夫婦が扉越しにPHSで

洗濯ものを取りに来られた入居者さんご主人が、自動扉越しに中を見ていました。本人は長く車いすに座っていることが難しく、ベッドに横になっていて見えなかったため職員が「奥様に会えますか？」と声をかけました。「いいんですか？」と答えられたことから、ベッドのまま自動扉の内側に奥様をお連れし、PHSを渡しました。難聴があり会話は難しかったようですが、しばらくお互いの顔

染対策に取り組んでいます。

入所

①面会、外出、外泊は禁止。業者の方も入所のフロア内には入室禁止。

②面会謝絶によるストレス防止のため、利用者さん・家族の方には自動扉を挟んで面会をしていただき、電話で会話が可能な方は施設のPHSで話してもらう。

③時間を決め、受付周辺やフロア内の環境整備を行なう。

通所

①送迎時の検温、鼻水や咳等の症状がないか目視で確認、異常がないことを確認した後サージスを開始。通所リハビリフロアは利用時間内に3回換気する。



基本のキ、みんなで手洗い

を見つめていました。居室に帰る際「少しでも会えてよかった、ありがとう」と笑顔で話してくれました。ご主人は「前よりも元氣そうでよかった」と安心した様子でした。

コロナウィルスで長い期間施設の外に出られない上に、面会もできません。職員は、どうか気分転換できる方法はないか、早く収束してほしいという思いで毎日、利用者さんに向き合っています。

（済生記者 伊藤君香）

全職員による夜間一斉消毒 「苦手食物」で免疫力アップ

〈神奈川〉わかさ保育園

当園では、子どもや関係者の

検温（1日1回以上）、手洗い・アルコール消毒、マスク使用の徹底はもちろん、除菌生成水（電解次亜塩素水）を噴霧する加湿器・低濃度オゾン除菌器を各室に複数台設置しました。除菌電解水給水器も急きょ導入し、さらなる手洗いの徹底に努めています。

また、全職員による夜間一斉消毒を定期的の実施。子ども同士の距離を広く保てるよう室内の空間を少しでも増やそうとピアノ撤去をはじめ大規模な物品整理を断行しました。子どもの活動スペースへの人の立ち入りを減らして汚染させないよう、あらゆる所に手も入れました。

食育では、腸内環境の改善や免疫力を高めて感染予防に少しでも役立てようと、食物繊維や亜鉛を多めに摂取する給食・おやつを提供しています。子どもたちは、かきやレバー、青汁等を使用したオリジナルメニュー

にもだいぶ慣れてきました。

子どもと職員の健康を守り、この有事をなんとか乗り切るため力を尽くしてまいります。

（済生記者 本倉美穂）

入所は 立ち入りを禁止 外来は 立ち入り人数制限

〈静岡〉伊豆医療
福祉センター

当施設は、重症心身障害児者を対象とした入所施設、発達障害の診察を主とした外来診療及びリハビリテーションや心理支援、児童発達支援事業、生活介護事業所、相談支援事業所を運営。2月29日から以下の対応を行ない、ホームページや電話で予約患者さん等にお知らせしました。

- 入所施設内への職員以外の立ち入りの禁止
- 不急の診察予約の延期
- 外来施設内への立ち入り人数の制限（受診者本人と保護者1人）



職員への毎日の検温

- 外来施設出入口への手指消毒剤の設置
 - 外来者への事前のマスク着用の呼びかけ
 - 外来患者・付添者への検温の実施
 - 施設職員全員の出勤前後の検温と体温の記録
 - 相談支援における訪問先への熱、味覚、嗅覚、せき等の異常の有無の確認の実施
- 当施設の立地する伊豆の国市周辺の市町でも4月初旬から感染者が確認され始めました。今後の流行状況を注視し、必要な対策を取っていきます。

（済生記者 土屋光平）

EVホールに職員2人配置 来院者のマスク着用等チェック

〈愛媛〉西条病院



当院では、2月27日から病院長指示のもと、厳重な院内感染対策を行なっています。

職員に対しては、始業前に体温測定と記録を義務付け、発熱がある職員は自宅待機です。院内会議の開催は必要最小限とし、時間の短縮や

一定間隔を開けた座席設置など、閉鎖された空間での感染防止に取り組んでいます。不特定多数の人が集まる出張、研修会、歓送迎会等の開催や参加を自粛しています。

来院者に対しては、受付でトリージを行ない、時間で分離し、発熱外来を設置しています。

心ない言葉もあるけれど 地域の温かさ実感できた

〈岩手〉陸前高田診療所

毎週、交代で診療応援に来てくださっている医師のうちの一人が検査で陽性だったことが分かった。先生はマスクを着用し感染対策をしていたため診療所のスタッフ

11人が濃厚接触はないと判断されたとが、積極的疫学調査のため検査を受けた。全員が陰性で、診療は継続された。

岩手県は全国唯一の感染確認者ゼロ県（4

月24日時点）のこともあり、新聞、テレビで大々的に報道されました。診療所と縁のなかった人たちからはお叱り、縁のある方々からは「大丈夫か？」「み



待合室では席を空けるよう工夫

んなの体調と心は大丈夫？」と、いたわりと励ましのメッセージをたくさんいただきました。スタッフの家族は出勤や登校ができなかったり、心ない対応に傷ついたりすることもありました。しかし、いつもと変わりなく受診に来てくださる方は、

等を実施しています。

また、入院患者の面会者を親族に限定し、面会時間帯は通常の20時までを18時に短縮。取引業者や委託業者に対しては立ち



いただき物です

入りを自粛してもらい、患者さんやご家族、面会者の安全管理に努めています。

（総務課 大仲 均）

寒い中、換気する時も「他も換気してるよ。寒くないから大丈夫。風を通すと気持ちいいね」と笑顔で話してくれます。私たちも、仕事ができること、患者さんとお話できることに、喜びと感謝を改めて感じています。地域の方がマスクを持ってきたり、山菜を差し入れてくれたり、温かいメッセージをくれたり。そのたびに地域の皆様に支えられていることを実感しました。

（看護師 麻生エミ）

#106

思いを手のひらにのせて



透析室の看護師長になって半年、私は毎朝、病棟に行って入院患者さんの様子を見ることが日課になっている。その日もいつも通り病棟に向くと、1人の患者さんが浮かない表情で私を見つめてきた。

「夜痛みましたか？」私はその患者さんに声をかけると、「私、血栓症なの？ ネットで調べたら死んじゃうかもって。シャントを作ってもだめ、また違うところに作ってもだめ……こう繰り返してい

たら、いつの日かカテーテルをずっと入れることになるの？」。声を荒げて、矢継ぎ早に質問をしてきた。

私は、「治療がうまくいかず腹を立てているのかな」と頭をよぎった。そこに、私の知識不足も加わって逃げ出したい気持ちなのかも。

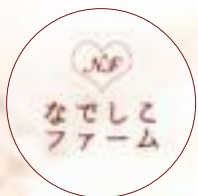
いや、きっと違う。この感じ、患者さんは説明を聞きたいんじゃない、つらいんだ。ぐっと一歩踏み込んで、「つらかったのね、でも、頑張ってるわ」そんな

思いを手のひらに乗せ、患者さんの肩にそっと触れた。患者さんはつらさを吐露し笑顔を見せた。私はチームで支えることを約束しその場を離れた。

透析患者さんは、自分自身がどんなに頑張っても医療者にゆだねなければならぬ部分が多くある。患者さんが今、何を感じ、どうしたいのかを大事に、支えていきたい。

(静岡・病院)

写真と筆者は異なります



熊本、松山から「愛」をお届けします！



熊本済生会ほほえみ「パン工房ふわり」
熊本県熊本市南区内田町 3560-1 Tel: 096-223-3428



松山ワークステーション「なでしこ」

愛媛県松山市東山町 143 番地 Tel: 089-916-6959



焼き菓子のネット通販店「なでしこファーム」

なでしこファームは、済生会の就労継続支援事業所で作ったお菓子を販売するネット通販店。
熊本・済生会ほほえみと愛媛・松山ワークステーションが出店し、済生会のホームページ上で営業中です。
商品のクッキーやケーキは、障害者が街のお店に追いつき追い越せと、一生懸命つくりました。
どうぞ一度、その思いも一緒に召しあがってみてください。お中元、お歳暮にも最適です。 店主敬白



◆クッキー (左上から時計回りにマープル、ゴマ、プレーン、クルミ)



♥ギフトボックス (クッキーとパウンドケーキの詰め合わせ)

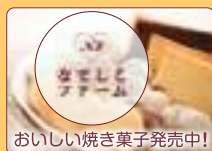


♣くまドレーヌ (くまの形で、手軽に食べられる大きさのマドレーヌ)



♠元祖クッキー (片栗粉を使ったサクサクとした歯ごたえが人気)

済生会のトップページからアクセス!!
<https://www.saiseikai.or.jp>



ホームページには、他にも魅力いっぱいの商品が。工房で、お店で活躍するスタッフの様子も。ぜひご覧ください。





わかなの外観と生活



新しい家で生活スタート 6人の若い芽、すくすくと育て！

約400の施設を運営している済生会で唯一の児童養護施設・〈静岡〉川奈臨海学園。国は社会的養護を担う児童養護施設の小規模化、地域分散化を進めています。4月1日、静岡県済生会は地域小規模児童養護施設わかなを開設。3月28日に行



なわれた開所式
取材しました。
(本部広報室
河内淳史)

65年前の昭和30年10月、虚弱児施設としてスタートし、平成10年の児童福祉法の改正で児童養護施設に移行した「静岡県川奈臨海学園」は、伊豆半島の東岸中部、伊東市にあり、ここから巣立った子どもたちは約2500人にもなります。

児童養護施設は保護者がいなかったり、い

も虐待や貧困を理由に、児童相談所を通して都道府県等が入所措置する施設。平成29年10月現在、全国605施設に3万2000人の子どもたちが暮らしています。

川奈臨海学園では、令和2年3月末現在、3〜18歳まで46人



開所式で子どもたちを代表して挨拶した女子中学生

の児童が43人の職員と共に暮らしています。

ここでの生活は毎朝6時40分に全員そろって朝食をした後、幼稚園やそれぞれの学校に通い、夕方、帰ってきたら小学生以上は自習と部屋の掃除をします。夏はキャンプ、冬はクリスマス



竹居施設長

地域小規模児童養護施設「わかな」のスケジュール

時間	平日	休日
6:30	起床	
6:40	朝食	
7:00	登校	起床・朝食
8:30		部屋片づけ
10:00		おやつ
11:00	当直職員出勤	当直職員出勤
12:00		昼食・内服
15:00		おやつ
15:30	(小)下校・宿題・登校準備	
18:00	夕食・内服	夕食
18:30	入浴	入浴
19:00	おやつ	
~21:00	掃除・片付け・就寝準備	掃除・片付け・就寝準備
21:00	(小)消灯、就寝	(小)就寝(休日前夜は23時、低学年は22時)
22:00	(中)(高)自習	
23:00	(中)(高)各部屋の消灯	消灯

(小)…小学生、(中)…中学生、(高)…高校生

会といった行事の他、近隣の企業や団体がバーベキューを行なうなど子どもたちの思い出作りに一役買ってくれています。そんな川奈臨海学園から車で

伊東市鎌田地区がサポート

地域小規模児童養護施設とは、

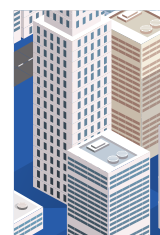
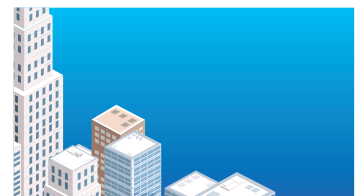
約15分、伊豆急行・南伊東駅近くに地域小規模児童養護施設「わかな」が4月1日に開所。6人の子どもが川奈臨海学園を離れ、職員と新たな生活を始めました。

3月28日に現地で行なわれた開所式で、鎌田地区に住み川奈臨海学園の前施設長でもある白井哲さんが地区を代表し、「とても素敵な家ができてよかったですね。みんな仲良く元気で暮らしてください」と子どもたち

済生会 交差点

SAISEIKAI・JUNCTION

済生会にはたくさんの道があります。道はどこかの交差点で交わり、離れていきます。そして経路は異なっても目的地はみんな同じ。「笑顔」です。



地域の民間住宅等を活用して家庭に近い環境で養育するところ。「わかな」には6人の子どもが当直も含めた4人の職員と生活を共にします。伊東市鎌田地区の住民に見守られながら、「わかな」は新生活をスタートしました。

国は家庭的な養育環境を求めるが……

平成28年の児童福祉法の改正では、「新しい社会的養育ビジョン」として、子どもが権利の主体であること、子どもの家庭

にエールを送りました。影山武司支部長は「温かい目で子どもたちを見守っていただき、職員にも気軽に声をかけていただきたい」と来賓者を前に感謝を述べ、子どもたちを代表し挨拶した中学1年の生徒は「私は家が建つまで先生と一緒に見に来ていて楽しみにしていました。きれいな建物なのできれいなまま保ちたい」と話しました。



鎌田地区に住む白井前施設長も子どもたちを見守る



スポーツ
リハビリ

奈良病院
副院長
岡橋孝治郎

合言葉は「絶対に復帰するぞ!」。スポーツ選手の競技復帰と再発予防を目的に、2015年4月1日、スポーツ障害に特化した「スポーツリハビリテーション部（スポリハ）」を開設。対象はオリンピック選

合言葉は「絶対に復帰するぞ!」 選手の背景まで丸ごと支える

手から中高齢のスポーツ愛好家までさまざまです。部は、松井智裕整形外科部長と筆者の2人の医師と、スポーツを愛するPT4人（うち2人はアスレチックトレーナー）の総勢6人。年間延べ約1200人の患者さん

と日々奮闘中です。スポーツ復帰を果たす条件として、手術の精度はもちろん、低下



開所式後に行なわれた建物見学

養育優先の原則が明記され、児童養護施設にも家庭的環境の整備が求められています。家庭的養護を目指す一方で課題も。「わかな」が苦労したのは物件探し。国の基準では、原則一部屋2人まで。居室面積は一人当たり4・95㎡以上で別に居間・食堂等子どもたちの交流する場所を有していることなど条件があります。宿直の部屋も含めると最低でも6畳の部屋が三つ以上の4LDKの建物が必要ですが、基準を満たす物件はなかなか見つかりません。「わかな」は行政や地域との協議を重ねながら2年間かけて事業に協力してくれる家主を見つけ、



影山支部長から感謝状を受け取る家主の冨田さん

開所にこぎつけました。同学園の竹居昭子施設長は「『わかな』は若い芽がすくすくと育つように、また、本体の川奈の三文字

から名付けました。地域の皆様感謝し、一生懸命子どもたちと一緒に生きていきます」と話していました。

不安もあるけれど……

「わかな」で暮らす小学5年生の児童は「小学校を転校することになって新しい友達ができるかなだけれど、ここでの生活が楽しみ」と話していました。「わかな」の建物オーナーの冨田君子さんは「この家で楽しく暮らして世の中の人のためになるような人間に育ってほしい」と、笑顔で新たな生活をスタートする子どもたちにエールを送りました。

リハ風景



した運動機能や筋力を回復させるだけでなく、「自信」や「感覚」を取り戻してもらうことも大切です。医師は、けがのみにフォーカスを当てがちですが、選手のメンタルケアも大事な側面で、必然的に専門知識のあるPT



地下筋トレ室

けがをした選手には 前向きな激励を

この5年間の貴重な経験で、スポリハ成功の鍵はスポーツの現場との信頼関係を基盤とした、

との連携が不可欠です。受傷直後は、選手に対して復帰に向けたリハビリプランを提供することで復帰への焦りを軽減させ、試合直前には、精神面にアプローチをします。ある意味、親や友人、監督・コーチのような立場で、選手の背中を押してあげることも重要なのです。

迅速な対応が可能なネットワーク作りだと実感。選手の信頼を得るのは当然のこと、監督・コーチなど指導者の立場や視点に立つ重要性も学びました。具体的には、けがをした選手のチーム内での役割やチーム全体の状況も把握が不可欠。診察室でのけがの説明は、選手と指導者の双方が理解する必要があります。

特に団体競技はこの点に留意します。キャプテンを任された学生選手が「けがで休んで、チームの士気を下げることなどできない。やるしかない!」と言い、監督も「彼は柔道のためと覚悟を決め、北海道から一人で私の元にきた。今、休めとは言えない。試合で勝たせてあげることが私の使命だ!」と、涙ながらに訴えられたことも。

その気持ちは痛いほどわかります。そんなとき私は「君をつぶすわけにはいかない。今はけがの治療に集中しよう。その代わり、以前よりパワーアップで

きるようしっかりサポートするから。暴れまくる姿が楽しみだ!」と、前向きになれる激励の言葉をかけます。

後々、スポリハ卒業生から「あのけがの経験を生かして、



篠原信一氏も
スポリハの卒業生です



オリンピック2連覇が期待される大野将平選手を囲んで

確実な内服を目指して 「処方確認シート」を導入

与薬時の 確認

〈岩手〉
 岩泉病院
 看護師長
 二見紀子



医療に携わる仕事をしたい」と聞くことも。自分たちの仕事も少しは役に立っているのかと、報われる瞬間です。

岩泉病院は80床の地域密着型病院で、入院患者の8割超は高齢者。寝たきりや認知機能低下などにより内服の自己管理ができず、与薬業務が病棟の看護職員30人の重要な役割です。

2016年度インシデント報告の件数は、内服関連が転倒・転落に次いで2番目でした。配薬・与薬時の確認は氏名のみで処方内容との照合は実施せず、指示通りに内服できているか不明でした。そこで看護科では、看護師4人でプロジェクトチームを結成。現状分析、課題

最後に、日米の野球界で偉業を成し遂げたイチロー選手の言葉を紹介します。

「特別なことをするために、特

の抽出、目標設定を行ない「確実な内服を目指す確認方法の確立」に取り組みました。

2016年度の内服に関する

別なことをするのはない。特別なことをするために、普段通りの当たり前のことをする」

スポリハではこの言葉を胸に、

インシデントを分析(図)。与薬忘れ、患者さんの取り違い、与薬量・与薬時間の間違いなどで全体の7割超を占めました。

要因は、薬の準備

段階や配薬・与薬

時の確認不足・認識不足、与薬の手

順が遵守されて

いないなどでした。

ただし、どの場面

で何を使用し照合

するのか、当院は

紙カルテのため業務量

の増加や転記ミスなど

のリスクも考慮した確

認方法が課題になりま

者)する——という二段階チェックを導入しました。
**施行1カ月後に手応え
 病棟全員の安全意識向上**
 看護職員に、インシデントの分析結果や課題と対策を十分に説明し、共通理解を得て確認手順の統一を図りました。そして17年10月から新ルールの運用を開始。当初は「ますます忙しくなる」「確認しながらの与薬は



処方と薬の内容をファースト・セカンドチェック

スポーツ界を超えて多種多様なネットワークを構築し、当院からさまざまな情報を発信できるよう、チーム一丸で努力します。

滋賀県病院

支部内連携強化で 地域包括ケアを推進

外来受診時から退院後も見据え、患者さんのニーズに応じ地域の医療・介護サービスを臨機応変にコーディネートする――。滋賀県病院を中心にした多職種・多施設連携で取り組む地域包括ケア。誰もが住み慣れた地域で暮らせる

まちづくりが進んでいます。

ポストアキュートの解決策

滋賀県支部がある栗東市を含む湖南保健医療圏域の2020年1月現在の高齢化率は21・8%。全国平均28・5%は下回るものの地域差が大きく、医療・

介護のニーズは少なくありません。そこで同支部では、外来受診から入院・退院、在宅療養、看取りに至るまでの一貫した医療・介護サービスを提供する地域包括ケアのしくみづくりを2年前から開始しました。

高度急性期医療は滋賀
県病院が、一般急性期・
回復期・慢性期の医療は
守山市民病院や地域の医



左から松並副院長兼看護部長、三木院長、松村副看護部長



与薬直前には必ず5R確認

5R確認

正しい単位・正しい用量・正しい用法
正しい時間・正しい患者

定期処方	臨時処方
患者氏名 処方 処方内容 2000.3.17.6 5000 処方 500 1000 ① 500 1000 ② 500 1000 ③ 500 1000 ④ 500 1000 ⑤ 500 1000 ⑥ 500 1000 ⑦ 500 1000 ⑧ 500 1000 ⑨ 500 1000 ⑩ 500 1000	患者氏名 処方 処方内容 2000.3.17.6 5000 処方 500 1000 ① 500 1000 ② 500 1000 ③ 500 1000 ④ 500 1000 ⑤ 500 1000 ⑥ 500 1000 ⑦ 500 1000 ⑧ 500 1000 ⑨ 500 1000 ⑩ 500 1000

左を拡大

処方確認シート

処方確認シート

時間がかかり大変」とのネガティブな意見もありましたが、「与葉直前の確認はエラーを防ぐ最後のチャンス、私たちが看護師の重要な責任である」と重ねて説明・周知しました。

すると施行1ヵ月後には「誤薬を未然に防いだ」「意識して確認することで間違いがなくなった」「安心して与薬できる」「患者さんと一緒に確認することによって理解が深まった」との手応え。さらに半年後には「シートで確認しないと不安で、今まで確認してこなかったことに怖さを感じる」との声が聞かれるようになり、「処方確認シ

「ト」をきっかけに、病棟看護職員全員の安全に対する意識が大きく向上しました。

その効果は18年度インシデン
ト報告にはつきりと表れました。
患者間違いは0件に、与薬忘れ
与薬の量・時間の間違いも減少
した一方、未然に防いだ事例は
16年度の3件から17件に大幅に
増加。処方確認シートによる確
認や与薬直前の5R確認の有効
性の証です。

インシデント発生時のフィードバック、シート活用後の意識調査などを継続し、患者さんにより安全な看護を提供できるように徹底していきます。



面談室で患者さんに応対するスタッフ



週2回の支部ミーティング

また、支部全体で患者情報を共有するため、各施設のケア・連携実務担当者によるカンファレンスを週2回開催。滋賀県病院の松並睦美副院長兼看護部長は「話し合いを通して連携が具体的に機能し始め、

療機関が後方支援します。従来は受け入れ先が手薄だったポストアキュートも、手厚くカバーし、療養・介護は、老健ケアポート栗東と特養淡海荘が担い、地域の訪問看護ステーションなどとも連携し、在宅療養・介護を支える。切れ目のないサービスは患者さんやご家族にとって安心です。



なでしこ患者支援センター入口



なでしこ患者支援センター窓口

支部の一体感を感じます」と話しています。

外来・入院・退院後まで 患者支援機能を強化

患者さんの入院治療に必要な

患者さんの困りごとをすくい上げるのも、センターの重要な役割。在宅医療が必要な人には訪問看護を受けられるよう手配し、担当ケアマネジャーがいない人には地域包括支援センターに支援を要請。日中の受診が困難なため救急を通じて入院を繰り返す患者さんには、地域の訪問看護ステーションと連携して、近隣の開業医を受診するように促すことも。松村智子副看護部長は「患者さんの意思決定

情報を外来受診時に収集し、退院後も医療・介護サービスをコーディネートするのが、同病院本館2階の「なでしこ患者支援センター」。従来の入院退院センター・がん診療支援センター・地域医療支援センターに属していた看護師13人、MSW9人などを集約しました。入院が決まると、患者情報がセンターに集まりやす。早期介入と外来・入院・退院までの院内連携が円滑になり、センター設置後の平均在院日数は従前の11日から10日に短縮されました。

の支援が今後の課題」と指摘しています。

滋賀県支部では、退院後の在宅療養でも、医療・介護サービスが途切れないようにするための地域ネットワークづくりが進んでいます。三木恒治院長は「今後は、かかりつけ医と連携して、看取りまでを視野に入れた在宅医療の拡充を図ります」と意欲を見せています。

(メディカル・リーフ

宇佐美拓憲)



2016年から連携先病院を招き毎週開催する脳卒中パスカンファレンス



当施設から3人目の EPA介護福祉士合格者

〈山形〉特養ながまち荘

第32回介護福祉士

国家試験の合格発表

が3月25日に行なわ

れ、当施設のEPA

介護福祉士候補者の

アグス・トリヤント

介護職員が合格しま

した。

県内のEPAに基

づく外国人合格者は、

これまで全て当施設

からで彼が3人目。

今回は東北地方で唯

一の合格者です。

アグス介護職員は2015年、

昨年合格したアンガ・ルスマへ



ンドラ介護職員とともに来日。昨年合格点にわずかに届かず涙をのみましたが、その悔しさをバネに仕事にも学習にも励み、今回のうれしい結果に。

プライベートでは、母国インドネシアに生活費や学費を送りするなど、亡父に代わって家族を支えてきました。昨年12月には妹さんも当施設に入職。今後は兄の背中を追い頑張ってくれると期待しています。

日本語検定1級という次なる目標に向け始動したアグスくん。私たちは今後も彼を応援していきます。

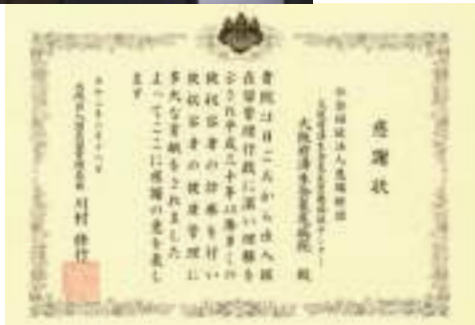
(生活相談員 奥原 信)

被收容者診療に感謝状

〈大阪〉泉尾病院

法務省大阪出入国在留管理局長から3月26日に感謝状をいただきました。当院が多くの被收容者の診療を行ってきた実績が評価されたことです。

当院は、済生会が掲げる「施薬救療（生活困窮者を救う）」



の理念に沿って、被收容者の受け入れを行なっています。生活苦などで医療が受けられずに困

っている人々を救済するという済生会の目的を全うし、このように立派な感謝状をいただけたことは大変光栄です。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大で緊迫した状態が続いていますが、職員一同、これを励みによりいっそう困窮者支援に努めたいと思います。

(済生記者 下方杏奈)



Vol. 120

独創的なダンサーとして国内外に知られる田中泯さん。

映画界でもほかにはない存在感を示し、75歳を迎えた今も大活躍中です。

今回、臨んだのは、同じく独自のスタイルで世界に名をとどろかせた絵師・葛飾北斎。

映画について、そして、田中さんにとっての「踊り」について伺いました。

Min Tanaka

田中泯

衣装協力：

シャツ Y's BANG ON!

[TEL: 03-5463-1500]

表現の自由を求め続けるダンサー。

情熱を持って、北斎に挑む。

Text：みやじまなおみ

Photos：吉川信之

Hair & Make-up：横山雷志郎

Styling：九 (Yolken)

「表現の自由が奪われていた時代にあつて、時流をもろともせず、世間の意表をつく風景画で成功した人物。彼の自由を追い求める気持ち、あの有名な波の絵に現れていると感じます」と、北斎の魅力を語る。

自身もジャンルでくくられた踊りを超え、誰も真似できない自己表現を求めてきた。その情熱には通じるものがあると信じて演じたという。「今回、『晩年の北斎をやつて』と言われて、それがほかの誰かではなく、自分だったことは素直にうれしかった。今作がみなさんにとって、北斎に対する好奇心のきっかけになればいいと思います」

一番好きな北斎の作品は『北斎漫画』。4千近くにおよぶ人物のユーモラスなポーズや表情などが収録された絵手本集を、踊りの参考にもしているのだとか。「あそこまで人間の身体に対する追求をした画家は後にも先にもいません。つま先の向け方、ひざの曲げ方といったポジションはずいぶん勉強させてもらいました」

田中さんにとっては、立つことも歩くことも踊り。「自分の手足を細部にわたって自分が納得いくように使うこと、身体と一体感を持って生きることが僕にとつての踊りなんです」と言い、自分の身体へのあくなき探求のため、30年以上前から山梨県の農村で畑仕事をする生活をベースにしている。「農作物も瞬間、瞬間を生きていて、その懸命な姿が踊りのお手本になることもあります。そんな作物の命をいただきながら、この先も一生踊り続けたいですね」



たなか・みん 1945年生まれ、東京都出身。クラシックバレエとモダンダンスを学び、74年に独自のダンス活動を開始。78年にルーブル美術館において海外デビュー。海外でも高い評価を受け、フランス政府よりシュヴァリエ（芸術文化騎士章）を叙勲。02年の『たそがれ清兵衛』でスクリーンデビュー、同作で第26回日本アカデミー賞新人俳優賞、最優秀助演男優賞を受賞。近年の主な映画出演作は『無限の住人』(17)、『アウトサイダー』(18)、『アルキメデスの対戦』(19)、『サバハ』(19) など。



映画『HOKUSAI』

『富嶽三十六景』などで知られる江戸時代の天才絵師・葛飾北斎の謎多き生涯を柳楽優弥（青年期、壮年期）、田中泯（老年期、晩年期）で映画化。舞台は、幕府に表現の自由が奪われていた江戸後期。その圧政に筆で抗い、齢70を超えてあの有名な「神奈川沖浪裏」にたどり着く。90歳で没するその日まで筆を握り続け、描いた「三つの波」の秘密に迫る物語。

■監督：橋本一 ■企画・脚本：河原れん

■出演：柳楽優弥、田中泯、阿部寛、永山瑛太、玉木宏、青木崇高、瀧本美織、津田寛治 ほか

2021年公開予定

配給：S・D・P

©2020 HOKUSAI MOVIE

口福につぼん

吉井省一

切り立てを味わえる
ロールタイプのうどん

うどんと言えば、まず頭に浮かぶのがやっぱり讃岐うどん。この名物うどんを自分で打つ、のほろほろなで、最後の切るところだけを楽しめるのがその名も「代打ち麺ロール」。まさに



済生会の「病院・施設」がある
県内の市町村

よしい・せいいち コピーライター・作詞家。老舗百貨店の食の通販誌では約30年にわたって執筆に携わり、全国各地取材。試食した食品の数は1万点を超える。

「むかし、「人類は麺類！」というインスタントラーメンのキャッチコピーがありました。人類の中でも特に私たち日本人は、そば、うどん、ラーメン、パスタなど麺が大好き。知り合いのカメラマンも自他共に認めるそばっ食い。「一日一食そばを食わなきゃいられねえ」などと何故かその時だけ江戸っ子口調。

ひととき、そば打ちやうどん打ちがブームになりました。中には趣味の域にとどまらず、脱サラして自分のお店を開く方までいたようです。粉の選定にはじまり、まぜて、こねて、寝かせて、のばして、大きな専用包丁でスッと切り分ける一連の動



作は、実にかっこいいものです。やってみたくても、準備だつてあるし、何より修業がたいへんそう。そこで、今回ご紹介させていただく、自宅で手軽に職人気分を味わえるうどんセットの出番です。

いとこ取りのうどんを開発したのは、本場香川県

県の「こんぴらや」です。

店長の瀧さんによると、「うどんは空気に触れると酸化して風味が消えてしまうので、切り立てが一番。それなら、ご家庭で召し上がる前にお客様自身に切

っていただく。お子様にもうどん作りを楽しんでいただく。それまでの作業はわたし

32 代打ち麺ロール

《こんぴらや》

香川県
仲多度郡
まんのう町

たちプロにおまかせを」ということで、この「代打ち麺ロール」が生まれたとのことです。

熟練の職人の手で丹念に打たれたうどん生地は、直径約6センチ長さ約23センチほどでおよそ5人前。ロールケーキのようにぎゅっと生地が渦を巻いていきます。麺づくりで難しいのは、生地を均一にのばして、折りたたむ工程とか。こちらの商品はそれらをすべてやってくれた上で、さあどうぞ、というもので。国産小麦100%を使ったうどん生地は、旨みが増す。低温熟成ののちを経て、切り分けられ



お子様でもおいしく作れる「代打ち麺ロール」。
大人の方の付き添いのもとでお楽しみください

る時を今か今かと待っているのです。

太麺から細麺まで 自由自在の楽しさ

それではさつそく、切ってくださいましょ。さて、ここです。たいどれくらいの幅に切れればい



国産100%小麦の風味を楽しむなら「釜揚げ」で

いのかと誰しも迷うところ。そんな時役に立つのが、箱に付いている「太さの目安ものさし」。「太4ミリ」「並3・5ミリ」「細2・5ミリ」という目盛りに合わせて、お好みの太さに切り分けられます。包丁は家にあるもので充分。

もっちりした生地はすつと包丁が入り、いい感じ。と思いきや、最初は少しくにやつとしますが、垂直に垂直にと心の中で



茹で上げたうどんに玉子と醤油がからみつき、食欲をかきたてる「釜玉うどん」

念じながら切り進めるのが秘訣。

幅に多少バラつきが出るのも自家製!? ならではのご愛嬌。打ち粉されているので、手でさつとほぐれ、市販されているような

麺の出来上がりです。

茹でる時間の目安も太さによって違います。指定された時間中は、鍋の中で茹で踊る麺を時々かき混ぜながら待つのみ。

茹で上がった色白の麺は、お風呂上がりのように湯気に包まれ実に美しい。ああ、このモチモチとした強いコシ、ツルツルッとしたのどごし。切り立て、しかも自分で切ったとなると、感動の分もあって旨さも格別。これならちよつと慣れれば、ホームパーティーなど家族や知人の前でも披露できそうです。

添付の特製つゆをかけて、流し行きの「ぶっかけ」が正統派の食べ方ですが、カレーうどんにしても麺によくからむので美味。シーチキンやねぎをのせてマヨネーズで和えるだけのマヨネーズうどんも意外といけます。うちでは、えび、ベビーリーフ、きゅうり、玉ねぎなどと合わせてサラダうどんにしてみました。好みのドレッシングをかければとても美味しいですよ。

そういえば、広告会社に勤めていた頃に担当していた健康系のクイズ番組で、「そばとうどん、どちらが日焼けするの?」という問題が出て、そばの方が日焼けするとの答えに、回答者の女性タレントたちが「これからはうどん食べなきゃ!」と真顔で言っていたのを思い出しました。さあ、女性の皆様、陽射

しが強くなるこれからの季節、切り立ての讃岐うどんなどいかがでしょうか。



代打ち麺ロール [1箱5名分／麺ロール500g、つゆ20ml×3]
972円(税込・送料別) 賞味期限……常温30日

お取り寄せ・お問い合わせは

こんぴらや

〒766-0013 香川県仲多度郡まんのう町東高篠1140

フリーダイヤル: 0120-101-703

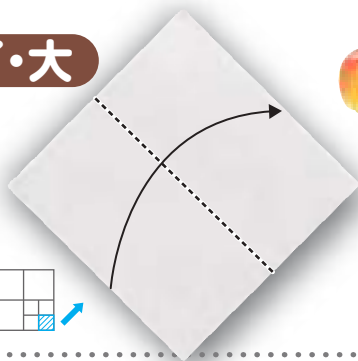
営業時間: 9:00 ~ 17:00 (定休日: 日曜、祝日)

ホームページ: <https://www.konpiraya.jp/>

アジサイ・大

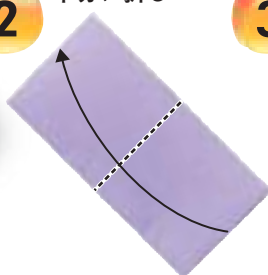
1

1/16に切った
折り紙を半分
に折る



2

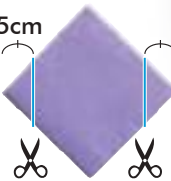
半分に折る



3

左右の角を
切る

0.5cm



4

開く



アジサイ・小

1/36 (1/9の1/4のサイズ)
に切った折り紙を使う。

作り方は「大」と
同じ



アジサイ・完成

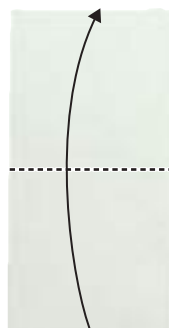
花びらの向きを縦横
にずらして、中心に合
わせてのり付けする



アジサイ・葉

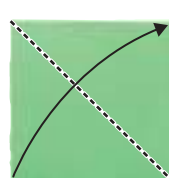
1

1/8に切った折り紙を
半分に折る



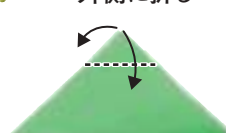
2

半分に折る



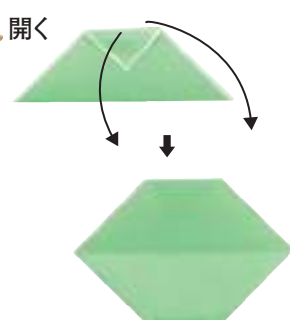
3

上の角を
外側に折る



4

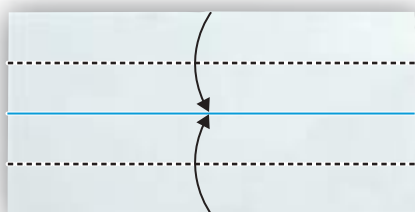
開く



フレーム

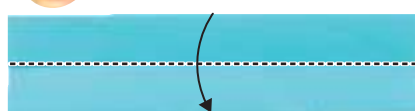
1

1/2に切った折り紙を
中心線に向かって折る



2

半分に折る



3

これを4枚つくる



4

縦横を交互に
組む



5

折り紙を
差し込んで
のりやテープ
で止める

6

完成



完成

アジサイの葉と花、
カタツムリを、フレー
ムに貼って完成!

いろんな色を
組み合わせて
みてね!



【いまいみさ】手づくりおもちゃ作家。
折り紙や牛乳パックなどをリサイク
ルして手づくりの楽しさを伝えてい
ます。著書に『12か月のおりがみ壁
飾り』など33冊。2011年から、小学
校2年の教科書「こくご」(三省堂版)にも登場。

おりがみ協力: 株式会社トーヨー



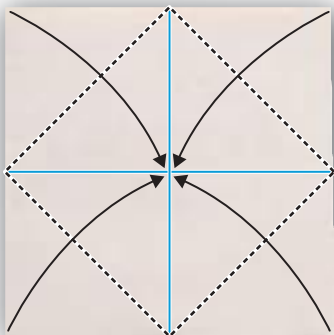
雨の日も わくわくフレーム



カタツムリ・体

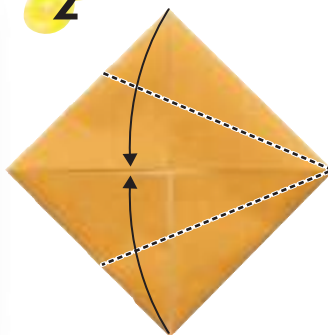
1

1/4に切った
折り紙を中心に
合わせて折る



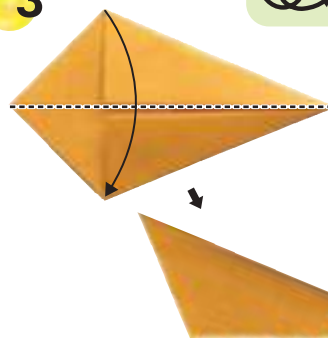
2

上下の角を折る



3

半分に折る

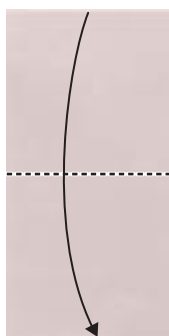


— 山折り
- - - 谷折り
↺ 裏返す

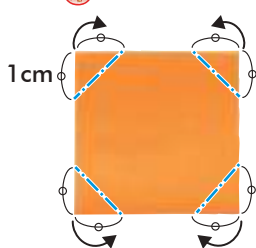
カタツムリ・カラ



1/8に切った折り紙を
半分に折る



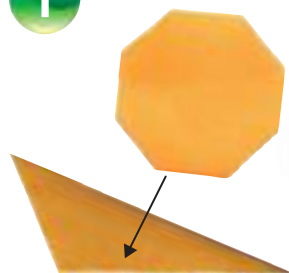
2 角を山折り



カタツムリ・完成

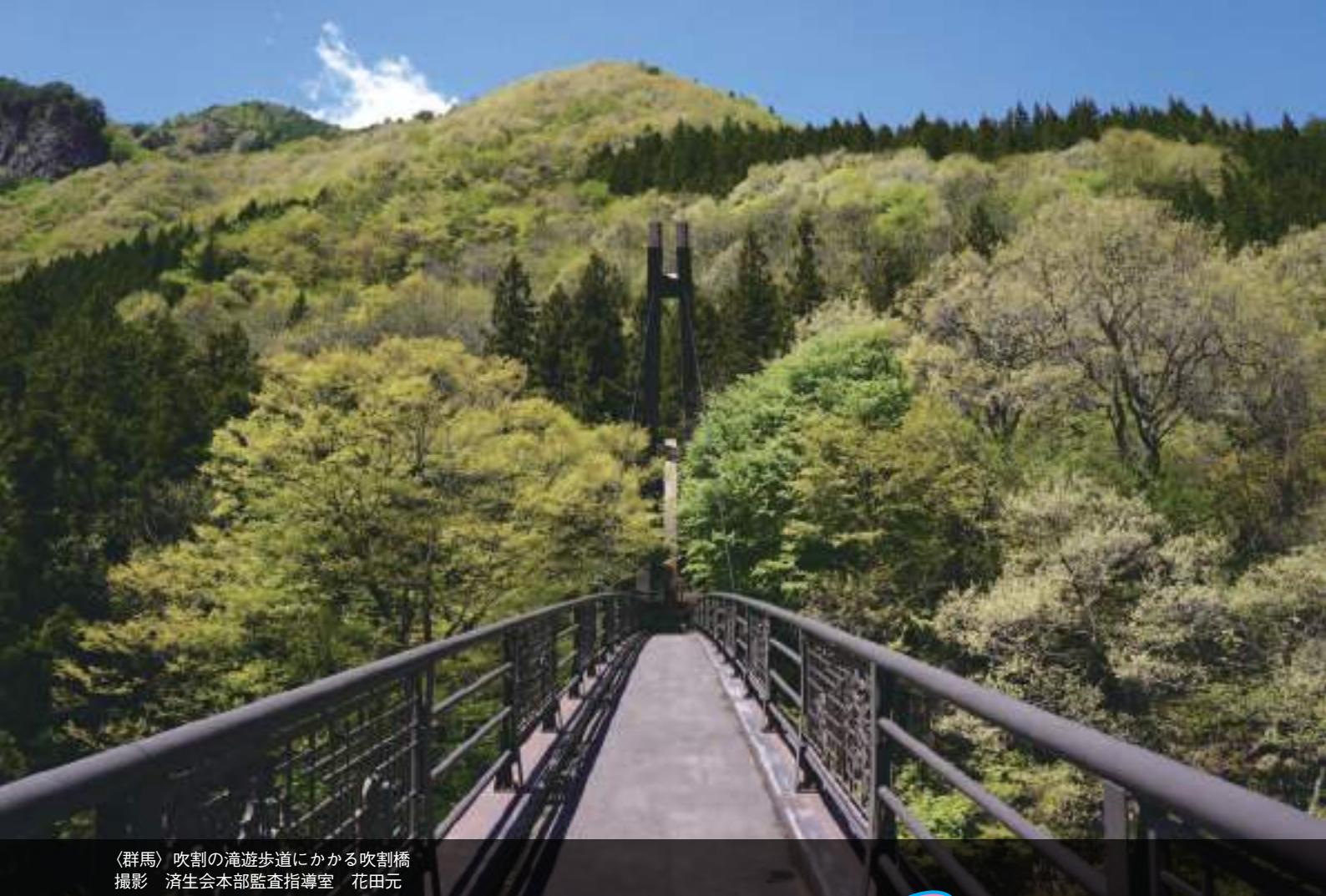


1 カラを体のにり付け



2 丸シールで
目を作る





〈群馬〉吹割の滝遊歩道にかかる吹割橋
撮影 済生会本部監査指導室 花田元

topics



株式会社イシダからの マスク寄贈に感謝

滋賀県病院

当院がある栗東市内に事業所を持つ株式会社イシダ様から4月15日、医療用マスク3000枚を寄贈いただきました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う全国的なマスク不足の中「少しでも地域の医療従事者のお役に立てれば」と、温かいご厚意で届けられました。

三木恒治院長は「できるだけ多くの患者さんを救うためにも、まずは職員が安心・安全に

働ける環境確保が必要不可欠です。さまざまな医療資源が不足し、長期的な対応が見込まれる中、このような温かいお気持ちをお寄せいただき心から感謝しています」と、謝意を述べました。

いただいたマスクは有効に活用し、当院が果たすべき診療機能の維持に努めます。

〈山形〉養護（盲）老人ホーム 山静寿

「布マスクをつくらう！」

入所者さん呼びかけの下、3



月25日と4月15日に、入所者さん3人と職員1人が協力して合計20枚の布マスクを作製しました。

全世界で猛威を振るう新型コ



コロナウイルス。感染拡大でマスク不足も深刻化しています。そこで余暇活動で不要のハンカチやガーゼを持ち寄り、自分好みの柄のマスクを作成。参加した入所者さんは「身近なものを再利用できて良かった」「ガーゼの感触が柔らかくて心地良い」「繰り返し使えるのがいい」と、充実した表情でした。

今回の取り組みが、コロナウイルスに対する不安を少しでも払拭し、入所者さんの日々のストレスの軽減や、日常生活の質の向上になればと思います。
(済生記者 丹 秀樹)

イオン九州と覚書を交換 健康づくり啓発活動で

佐賀県済生会
イオン九州と佐賀県済生会は「地元市民への健康づくり啓発活動に関する覚書」を3月10日に交わし、具体的な活動をスタートしました。

まずは院内に「地域健康啓発委員会」を立ち上げ、健康イベントの企画、ユニホームの作製、市報やメディアを使った広報活動などを計画。医師・保健師・リハビリ専門職・MSW・事務など多職種協働での、地域住民の健康啓発に向けた取り組みも準備を開始しました。

当初は4月から「イオンGG感謝デー」にあたる15日に、イオン唐津ショッピングセンター内で健康教室・健康測定・健康相談会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響もあり開催延期となりました。

今後は環境衛生に配慮した計



そこで新たに在宅療養機能を加え、切れ目のない医療サービスを提供を可能にしました。

訪問看護ステーションの名称は「あまね」。「あまねく人々が安心して幸せな社会生活を送るためのお手伝いをしたい」との思いを込めて名付けました。

少数精鋭のメンバーで、地域の皆さんが安心して暮らせる環境づくりの大きな目標の実現に向け活動していきます。

(済生記者 田中 隆)

画を立て、実施していきます。
(医療福祉相談室室長
梶原 順)

〈奈良〉 御所病院 訪問看護ステーション開設

このたび当院では訪問看護ステーションを開設し、3月1日から事業を開始しました。

人口減少・高齢化とともに全国平均を大きく上回る地域にあつて、地域包括ケアシステムの機能強化が喫緊の課題でした。



topics

奈良病院

「支え合う」をテーマに ポスター展を開催

ポスター展「支え合う」を、
2月10日から3月14日まで外来
フロアで開催しました。

30部署が出展し「一番心に残ったポスター」を患者さん・職員が投票。患者さんの投票1位は、寝具リース・洗濯・清掃委託業者の小山株式会社さん。衛生環境の整備で、ともに院内感染対策を担ってくれる心強い仲間です。「これからもよりよい環境づくりを目指し、奈良病院とともに歩むことが私たちの使



命です」とうれしいメッセージをいただきました。

職員投票1位はリハビリテーション科。「全職員が地域住民の杖になる」のキャッチコピーで、地域包括ケアシステムの中核機能をアピールしました。

患者さんからは「『支え合う』のは人が生きていくうえでとても大切。思いがこもったポスター展は良い取り組みだと思う」とご意見いただきました。

(医療安全管理室 看護師長 丸山節子)

〈大阪〉野江病院

糖尿病診療ネットワーク DM net ONE 学術講演会

当番世話人の当院は「DM



net ONE 学術講演会」を
2月22日に大阪市内の太閤園で
開催、近隣の診療所医師や医療
従事者など約120人が参加
しました。

DM net ONE (Diabetes Mellitus network in Osaka North East) は、城東区・旭区・鶴見区・都島区とその周辺の先生方と立ち上げた「糖尿病診療のための地域連携ネットワーク」。当院を含む地域中核病院5施設と200以上の診療所で構成しています。糖尿病治療に「連携バス」を活用し、かかりつけ医と病院医師で治療経過を共有するのが目的です。

当日は、当院の糖尿病・内分泌内科の安田浩一朗副院長が「実地臨床における糖尿病治療」DPP-4阻害薬を中心に」と題し講演。また、京都大学大学院医学研究科・稲垣暢也教授(糖尿病・内分泌・栄養内科学)が「患者中心のアプローチによる糖尿病の最新治療」について特別講演を行いました。

(済生記者 坂本千晶)



〈静岡〉なでしこ保育園

令和初の卒園式

なでしこ保育園卒園式を3月



25日に行ない、14人の園児を送り出しました。例年は年中クラス、園児も参加しお祝いしますが、今年は新型コロナウイルス感染症予防のマスク着用の下、卒園児と保護者、保育園関係者のみが出席しました。

名前を呼ばれた卒園児は大きな声で返事をして、緊張しながら登壇。石山純三園長は一人ひとりに保育証書を手渡すと、お祝いの言葉を述べました。

「小学生になると大変なこともあるかもしれませんが、わくわくすることたくさんあると思います。新しいお友達もたくさんできます。それを楽しみに元気で過ごしてください」

その後14人全員で「思い出のことば」を発表。保護者は「卒園式中止のところもある中、規模縮小でも開催できてよかった」と、みんなでお祝いできたことを喜んでいました。

（済生記者 木村葉子）

〈北海道〉小樽病院

平光さんの手作りマスク 50枚が子どもたちに

医療クラーク課職員の平光美帆さんから、院内保育所などで

こキッズクラブの子どもたちに、手作りマスク50枚がプレゼントされました。

「子ども用のマスクを入手するのが難しい今だから、自作のマスクを使ってもらいたい」——ハンドメイドが趣味の平光さんは、そんな思いからマスク作りを思い立ったそうです。

表に二重ガーゼ、裏にはさらしを使用し、立体裁断して作成という手の込んだづくり。サイズもS・Mの2種類を用意するなど、店頭に並んでいてもおかしくないほどの立派な仕上がりです。

色とりどりの素敵なマスクを受け取った子どもたちは、大喜びで「ありがとうございます」と大きな声でお礼を言いました。

（済生記者 松尾寛志）





10人が元気に卒園式

院内保育所の卒園式を3月27

福井県済生会病院
院内保育所・ぽっかぽか園

日に行ない、10人の園児が巣立ちました。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため規模を縮小しましたが、この日のために練習を積み重ねた園児たちは元気に入場に卒園証書が授与されました。

登谷院長からは式辞とともに保護者へ「業務が忙しい中、しっかりと育ててくださっていることに感謝します。お子さんの体調が悪い時には休んでそばにいてあげてください。病院が支援します」と、ねぎらいの言葉も

子どもたちは大きな声で「みんなともだち」を合唱。成長したわが子の姿を見守る保護者には涙する人も。園児たちからは「ジャンボリーミッキー」に合わせた踊りのサプライズプレゼントもあり、笑顔あふれる忘れられない時間となりました。

〈済生記者 吉川千恵〉

〈福岡〉二日市病院

安永副院長がラジオ出演

当院の安永昌史副院長が、地元 KBC のラジオ番組「おなかワンダーランド」に出演します。放送日時は6月の毎週日曜

日の10時15分〜55分です。

安永副院長は、日本肝胆膵外科学会の肝胆膵外科高度技能指導医の資格を有するなど、消化器外科が専門。収録した番組では、「そもそも外科とは何か」などの初歩的な話から、病気に対する外科的アプローチやケアの特徴まで、わかりやすく説明



しています。ほかにも腹腔鏡手術や近年増加している膵臓がんなどの、最新の外科治療についても詳しく解説しました。

KBC は福岡のローカル局ですが、インターネットラジオの「ラジオ」で全国どこからでも聴取可能。皆さんもぜひお聴きください。

〈済生記者 木山浩平〉

topics

世界初の画像診断技術を 海外雑誌に論文掲載

二日市病院

心筋梗塞後の心筋内出血に関する私たちの論文が、循環器領域の画像診断を専門とする海外の雑誌「The International Journal of Cardiovascular



Imaging」に掲載されました。

重症心筋梗塞では、壊死した心筋に治療によって血液の再流入が起こると、心筋内で出血が引き起こされる可能性が高まります。予後不良の一因とされ解決すべき問題です。

こうした中、私たちは世界で初めて心筋梗塞後の患者に対し、画像を用いた心筋内出血の計測に挑戦。それを論文にまと

め、MRIを用いて心筋梗塞後の心筋内出血リスクが高い患者の選別と、心筋内出血量の半自動計測法を検討しています。

そのデータでは、急性心筋梗塞で治療を行なった約1割の患者に心筋内出血を確認。現在、心筋内出血の有無で治療方針が変わることはありませんが、今回の検討が、心筋を保護して心筋内出血を減らす治療の開発などに役立つことを期待しています。
(放射線部 新井英雄)

地域型保育所に移行

〈愛媛〉今治病院

1975年に事業所保育所として開設した今治医療福祉センターなでしこ保育所は、4月1日から地域型保育所になりました。今後は当院職員の子どもだけでなく、地域の子どもたちの受け入れも可能です。

今までは保育士11人の認可外保育所（定員50人）でした。しかし今回の変更で、定員30人の認可保育所（従業員枠23人・地域枠7人）と、定員20人の認可外保育所を併用し、保育士12人体制で保育を行なっていく予定です。地域との信頼関係構築に努め、



たくさんの子どもの成長のお手伝いをしていけるよう、一同頑張っていきます。

(医局秘書 日野志惟那)

〈愛媛〉西条病院

歯科医師初期臨床研修 記念すべき第一期生修了

歯科医師初期臨床研修の修了式を3月27日に行ないました。今年度から歯科医師臨床研修基幹型施設に認定された当院にとって、記念すべき第一期生です。岡田眞一院長が修了書とともに



に、今後の活躍を期待する言葉を贈りました。

研修医は「基本的な診療技術に加え、医師としての姿勢や態度、多職種との連携など多くを学べ、大変有意義な1年でした」と謝辞を述べました。

最後に、浜川裕之・歯科口腔外科センター長から激励の言葉が、歯科衛生士からは花束が贈られて和やかに式は終了。今後は研修で学んだことを生

かし、患者さんに最高の医療を提供できる歯科医師を目指して頑張っていると思います。

(総務課 大仲 均)

22人の卒園を祝う

〈山口〉下関総合病院

3月31日、第34回院内保育所卒園式を挙行了しました。今年度



は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、卒園児22人とその保護者のみの出席と、例年に比べ規模を縮小して行ないました。

卒園児の年齢は1歳から4歳まで。どんなに小さい子ども、緊張しながらも廣澤和智事務長から立派に卒園証書を受け取りました。

列席したお母さんの中には、入園当時の泣きじゃくっていたわが子を思い出し、成長した姿に涙ぐむ人もいました。

例年のように大勢で卒園をお祝いできませんでしたでしたが、巣立っていく子どもたちの次へのスタートを、心いっぱい応援し送り出しました。

(院内保育士

上野敬子)

県立医大病院から感謝状

〈奈良〉御所病院

連携先の奈良県立医科大学附属病院から3月26日、感謝状を授与されました。多くの患者さんを受け入れている実績が評価されたものです。

同病院とは昨年11月、整形外科の連携推進を申し合わせ調印している関係ですが、今回は、病院間の連携全般が評価対象となりました。

当院は、地域の医療機関として住民の安心を支える医療提供の取り組みを強化しています。今回の感謝状はその成果が形となったものと受け取っており、



とても励みになります。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、医療機関は今、非常に厳しい環境にあります。これからも職員一丸となって医療連携を進めることで、地域医療に貢献していきます。

(済生記者 田中 隆)

〈愛媛〉西条老健いしつち苑 壁の桜に満開の笑顔

当苑では毎月、入所者さんと一緒に、季節の飾りつけを楽しんでいます。例年通り4月は桜まつりをテーマに、紙で作った色とりどりの花びらを3階フロアの壁一面に貼りました。花びらを一つひとつ広げてい





く作業中「これで合つとるの？」
「できる前に、私は家に帰つと
るかもしれんね」などとおしゃ
べりを楽しみながら創作に励み
ました。

新型コロナウイルスの影響で
恒例の桜の花見遠足も中止に。
そうした中で壁に咲いた満開の
きれいな桜に、入所者さんはと
ても喜んでくれました。

「きれいな桜が咲いたね」と言
いながら眺める姿を見て、「来
年はいつものように花見に行け
ますように」と願う気持ちでい
っぱいになりました。

（事務主任 大仲佳奈子）

御所病院

エアーストレッチャー® の使用方法を訓練で周知

令和元年度2度目の消防訓練
を3月24日に実施しました。今
回は、院内の消火設備の確認、
119番の通報訓練に加えて、
医療用搬送具を活用した避難訓
練を行いました。

火災を含めた災害時には、エ
レベーターを使用できない場合
もあります。その際に患者さん
を安全に避難させるため、当院
は簡単・迅速に使用できる医療

用搬送具「エアーストレッチャ
ー®」を導入しました。看護
師1人でも患者を搬送できるよ
うに開発された万能担架で、充
填されたエアが衝撃を吸収す
るため、階段や段差でも引つ張
って搬送できます。

その使用方法を職員に周知す



ることが今回の避難訓練の大き
な目的の一つ。有事を想定し、
参加者全員が積極的に道具に触
れ、搬送を体験しました。

（済生記者 田中 隆）

topics



〈熊本〉みすみ病院 花いっぱい活動開始!

『花いっぱい活動』を3月24日に行ないました。昨年の主任・係長研修のグループワークで「殺風景な病院入口に季節感を」と提案され始まった活動です。

朝から土を耕して溝を作り、肥料を施こして準備。手の空いた職員10人ほどが集まり、芝桜の苗を20cm間隔でいっせいに植えました。固い土を手でほぐし、水をまいて約1時間で作業は終わりました。

その後は通所リハビリテーションの利用者さんにも手伝っていただき、正面玄関の花壇に花を植えたり、芝桜の苗を増やしてもらったりしています。秋に咲く花も植える予定で、年中花でいっぱいの病院をつくっていきます。

(済生記者 船橋麻紀)

みすみ病院

無医地区の巡回診療開始 一緒に買い物と銀行も

昨年3月に閉院した旧松合医院への「巡回診療」を、今年1月から始めています。



同医院がある不知火町松合地区は、宇城市内では当院のある三角町と同様に高齢過疎化が進

む地域。閉院に際し、無医地区となる地域住民から市を通じて医療継続の要望がありました。

院内で検討を重ねた結果、消化器内科の長島不二夫医師と外来看護師・医事室職員が、旧松合医院を月2回訪問し巡回診療を行なうことにしました。

現在、同医院は建物があるだけで医療機器はないため、必要最低限を持ち込み、医院の駐車場にはローソンと肥後銀行の移動店舗車が待機。買い物と銀行も利用できるようにしました。

基本的には一次診療のみで、必要に応じ専門の医療機関を紹介する流れですが、かかりつけ医として地域医療のお手伝いができればと考えています。

(医事室 山内剛志)

〈岩手〉特養百楽苑

ヨーグルトで元気になって

岩泉ホールディングス(株)の山下欽也社長が4月15日に当苑を訪れ、「岩泉のむヨーグルト200ml」200本を寄贈してくれました。

同社は、地元岩手の地域資源を活用した「安全な食」を提供する食品メーカーです。新型コ



ロナウイルスが世界中にまん延する中、「高齢者や子どもたちに免疫力をつけて元気に過ごしてほしい」との思いを込めて、当苑のほかにも、町内福祉事業所や小中学校、こども園などに

合計1400本を届けたとのこと。

乳酸菌が豊富に含まれるヨーグルトを飲んだ利用者さんは



「おいしい」と笑顔でした。

（済生記者 三上敦史）

〈山形〉はやぶさ保育園

こいのぼりを作ろう

4月中旬のある日、みんなでこいのぼりを作りました。新入園児120人が、園庭で泳ぐこいのぼりを「ピンクかわいいね」「大きいね」と見上げたり、「届くかな?」とジャンプしたりするなど、興味津々な様子を見て一緒に作ってみようと思いが立ちました。

どんなこいのぼりを作ろうかと話し合う年中児と年長児のクラス。年中児は「大きいのがいい」「小さいのがいい」と意見が分れましたが「大きいこい

のぼりの中に、小さいこいのぼりをくつつければいいよ」と話がまとまりました。

小さいこいのぼりは、画用紙にクレヨンで模様を描いた上から絵の具で色付け。大きいこいのぼりは、模造紙に手のひらや筆で模様を付けて作りました。最後に二つを合体して完成した手作りのこいのぼりも、元気に泳いでいます。

（済生記者 峯田美咲）

みすみ病院

10人の新しい仲間たち

4月1日、看護師7人・薬剤師2人・ST1人の計10人の新入職員を迎え、新形式とオリエンテーションを行いました。

新型コロナウイルス感染症対策で、全員がマスク着用の上、間隔を開けて実施。今年度から看護師とPT・OT・STの制服を白衣からカラフルなスクラブへ変更したため、会場は例年より華やいだ印象でした。

オリエンテーションは2日間に渡り、就業規則や接遇、感染対策、医療保険制度などを説明。時節柄、歓迎会は中止しましたが、1日目の最後の救急医療の



講義後、庄野弘幸院長が歓迎の意味を込めて三角町戸馳島特産の「胡蝶蘭」を一人ひとりにプレゼント。それまで緊張の面持ちだった新任職員の顔が一瞬にしてほころび、みな素敵な笑顔を見せてくれました。

（済生記者 船橋麻紀）



〈新潟〉三条特養長和園 来春への願いを込めて 桜の貼り絵づくり

園内にいながら新しい春の喜びを感じられるようにと4月2日、利用者さんと一緒に「桜の貼り絵」をつくりました。

今年の春は新型コロナウイルス感染症の影響によって、日常生活のあらゆる活動が制限・自粛されています。そんな中「来年の春にはみなさんでお花見できるように」と、花びらに願いを込めながら完成させました。

「細かい作業だったけど、上手く貼れたよ」「眺めていると明るい気分になれるね」といった利用者さんの声が爽やかな春風のように感じられ、職員の気持ちを和ませてくれました。

当園では利用者さんの健康を



第一に、職員一人ひとりが責任を自覚した行動をとり、今後も引き続き新型コロナウイルス感染症の予防に努めていきます。

（済生記者 片桐大輔）

〈山形〉特養ながまち荘

健康企業宣言に登録 事業所の健康データ届く

今年1月9日に「やまがた健康企業宣言」の登録事業所（2月19日現在 920事業所）となった当施設に、協会けんぽ山形支部から、当事業所全体の生活習慣病リスク保有率のデータが送られてきました。

それによると、2018年度と2019年度の比較で、血圧リスクや脂質リスクは低下している一方、メタボリックリスクは上昇しているという結果でした。

近年、従業員の健康を重要な経営資源ととらえ、健康増進に積極的に取り組む企業経営スタイル「健康経営」が注目されています。やまがた健康企業宣言は事業主の意志表明であり、従業員一人ひとりを大切にケアしていることを意味します。

当施設では送っていただいた

データを生かし、さらなる健康増進を図っていきます。

（業務主査 竹田征子）



特養ながまち荘

五輪のリースを手作り

今年に入り1〜2月の2カ月をかけて、入居者さん4人で五輪マークをモチーフとしたリースを作成しました。

赤・黄・緑・青・黒の五輪の色別に担当を決め絵の具で色付けし、配色を考えながら、夏に育った花やハーブや秋に実った木の実などを飾りました。

作業中は1964年の東京五輪の思い出話が。「オリンピックのためにどこの家もテレビを買って見たね」「スポーツも

topics

運動も好きだったな」などと会話がはずみました。完成し掲示すると、拍手とともに「すてきー」の声と笑顔があふれました。このリリースの下、東京五輪



2020をみんなで応援しよう」と盛り上がりつつあった矢先に、開催延期の知らせ……。楽しみは先に延びてしまいました。が、感染症予防に努め健康に留意して、来年の東京五輪はみんなで元気に観戦したいと思っています。

(副主任介護職員 長岡真弓)

〈山口〉貴船福祉ケアセンター 曜日対抗合唱コンクール

2月25日から3月6日にかけて第2回曜日対抗合唱コンクールを行ない、各日15人前後の利用者さんが参加しました。

当日の合唱風景を録画し、各曜日の利用者さんが見て、良かったと思うチームに投票してもらいました。結果は3月16日に発表し、優勝チームを表彰しま



した。

選曲から審査までを利用者さん主体で行なってもらい、門出を祝う曲や春らしい曲の多い心温まる催しとなりました。職員のアナウンサーに合せて歌う皆さんの真剣な表情も、動画に映る自分を見る恥ずかし気な様子も、普段と異なるコンクールならではの新鮮な場面でした。

2回目の今年は「連覇を目指そう」「今年こそは金賞」とチーム一丸で高まっていく様子が若々しい活気が見られ、ほほえましくなりました。

(貴船園デイサービスセンター
機能訓練指導員 河村洋子)

〈兵庫〉特養ふじの里・ 小規模特養なでしこ神戸

12人の新入職員研修

4月1日に12人の新入職員を迎え、今年も5日間の新入職員研修を実施しました。

前半2日間は座学で、済生会の歴史やふじの里・なでしこ神戸の理念など知識の習得。後半3日間は全部署を実習で回り、仕事内容や専門職としての特性を実地で学び、最終日には意見交換会を行いました。

初日こそ緊張感や不安も大きかった新入職員も、振り返りの場では達成感に満ちた生き生きとした表情に。特に現場実習の満足度は高く、「幅広い部署の業務や専門職の働きぶりを知ることができてよかった」「利用者さんの状況も分かった」と、例



年通り今年も好評でした。研修翌日からは各部署に配属されます。年齢はさまざまですが、同じ年度に入職した仲間たち。横のつながりを大切にして頑張っしてほしいです。

(高齢住宅課長・教育担当

吉川朱美)

〈愛媛〉西条特養

懐かしいぼたもち作り

お彼岸に合わせて3月17～21日の5日間、デイサービス事業所で「ぼたもち作り」を行ない、延べ116人の利用者さんが参加しました。

まず炊いたうるち米ともち米



をボウルに混ぜ入れ、すりこぎでつぶしますが、加減が難しく軟らかくなり過ぎた人も。それを1人2個ずつ小さい俵型に整えました。小さいのや大きいものなどさまざまな形にした後、一つはあんこで包み、もう一つはきな粉をまぶして出来上がり。おいしそうな出来栄に、お

茶の用意を待

ちきれずに食

べてしまう人

もいて、笑い

に包まれました。

「昔は、よう

作りよったけ

ど、最近では

らんになった

ね」「おいし

かったよ。懐

かしい味がし

て昔を思い出

した」と、懐

かしさと季節

感あふれる良

い行事になり

ました。

(済生記者

村尾友和)

〈栃木〉宇都宮病院

宇都宮市消防局などとドクターカーの協定締結

3月26日に「ドクターカーに関する協定書」を宇都宮市消防局・塩谷広域行政組合消防本部と結びました。ドクターカーは先日納車され、今秋の運用開始に向けて、今年度から救命救急



センター長に就任した小倉崇以^{たかゆき}医師を中心に準備を進めているところでは、心肺停止患者や重症外傷患者に対し、一刻も早く高度の医療処置を開始するため、医師・看護師・救急救命士等が同乗し出

動。災害現場などでの医療活動を通して、救命率の向上に貢献していきます。

車両デザインは、当院の理念を表す「なでしこマーク」の赤・ピンク・ゴールドの3色ラインと、背面に描いた栃木県と宇都宮市のゆるキャラが特徴。思いやりのある安全で質の高い医療を提供し、地域社会に貢献するという思いを込めました。

(経営支援課 宮崎 彩)

〈鳥取〉老健はまかせ

子ども食堂登録児童へレトルトカレーを送付!

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月から「子ども食堂」を休止しています。

なかなか再開のめどが見えない中で、苦渋の決断をした職員が「楽しみにしている児童に何かできることはないか」と話し合い、レトルトカレー(きざらぎ社からの寄贈品)を贈ることに。一緒にお菓子と職員からの手紙も添えて、本来なら子ども食堂を開催する4月の第2土曜日に、毎月子ども食堂を利用する20人の登録児童に郵送しました。



子ども食堂を再開し、みんなの笑顔にまた会える日が一日も早く訪れることを、心から待ち望んでいます。

(済生記者 松本 大)

宇都宮病院

地域連携課に功労賞

院内の功労者表彰制度に基づく2019年度の表彰を3月24日に行ない、地域連携課が功労賞を受賞。小林健二院長から表彰状と記念品が授与されました。

同制度は職員の意欲向上や模範となる行動を引き出すことを目的に創設。個人やチームの取り組みが、病院にとって非常に有益な実績であると認められた場合に功績を称え表彰します。

当課の受賞理由は「なでしこプランや公益的取り組みの推進に努め、済生会のブランディング強化に多大な貢献をした」と認められたためです。

荻津守事務部副部長(MSW)は「当院は、支部長や院長の福祉的活動に関する理解があり積極的な活動できている。今回の受賞が、職員全体の理解と意識の向上につながれば幸いです」



とあいさつしました。

(地域連携課 秋山綾香)

(大阪) 野江病院

松山事務部長に「消防功績顕賞」が授与

当院の松山信幸事務部長に、大阪市自衛消防連合協議会長・大阪市消防局長から「消防功績顕賞」が授与されました。

城東自衛消防協議会や城東防火協力会の役員を務める松山事務部長は、昨年も城東自衛消防協議会長・大阪市城東消防署長から「消防功績顕賞」を受けています。

今回は自衛消防隊員として、自衛消防隊の重要性を深く認識し積極的に隊の充実に尽力したことが受賞理由となりました。3月19日に開催が予定されていた「消防記念日表彰式典」での授与式は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止



に。それでも表彰状を手にした松山事務部長は「昨年同様、職員を代表していただいたものであり、当院の災害対策委員会をはじめとする関連委員会の活発な防火・防災への取り組みが評価されたものと思っています」と感想を述べました。

(済生記者 坂本千晶)

福井県済生会病院

宇都宮方式で難聴を治療 めまい・難聴センター新設

「めまい・難聴センター」をこの4月、耳鼻咽喉科内に開設しました。

難聴は認知症のリスク因子の9%を占めるとされ、超高齢社会の重要な健康問題になると予測されています。

その中で当センター

は「済生会宇都宮方式の補聴器リハビリテーション」を導入。専門医とSTが「聞こえと脳のトレーニング」や補聴器の調整をし、「聞こえ」の力を引き出すサポートをします。

受診した患者さんからは「世界が

変わって出かけるのが楽しくなった」「家族と同じ音量でテレビを観られるようになってうれしい」など喜びの声。

耳鼻咽喉科の清水良憲副部長は「難聴の世紀を迎え、聞こえをこれまで以上に大切にしていくなければ。難聴で苦しむ全ての人の助けになり、日々の生活を健やかに幸せに送れるようにしたい」と意気込みを語っています。

（済生記者 吉川千恵）

〈福岡〉飯塚嘉穂病院

患者・職員の心を癒やす 世界の絶景写真展

世界の絶景写真30点の写真展を2月〜3月に、1階ラウンジルームにて開催しました。

展示写真は、福岡市在住の写真家・鶴澤昂（たづま しょう）さんが、数年前に単身で世界を巡り、さまざまな

国の絶景を写したものの。ウクライナの老夫婦のほほ笑ましい姿をとらえた「愛のトンネル」などが、見る人の心に癒やしを与えました。

ラウンジ利用者からは「世界旅行をした気分。コロナが収まったら行ってみたいになった」「写真を見て元気をもらえた、ありがたう」などの声。

新型コロナウイルスの影響で開催を多くの人に知らせることはできませんでしたが、いつもと違う雰



囲気のラウンジとなり、利用した人に元気や希望を与えられたのではないかと思います。

（済生記者 松岡亜希）

おことわり

4月号「トピックス」に掲載した〈山口〉貴船園福祉ケアセンターの働き方改革成果発表の写真は、山口新聞社から提供していただきました。

載々

手術室の感染対策を解説

滋賀県病院 佐々木看護係長

中材・手術室業務担当者のための

済生会の職員が寄稿した記事が、掲載された雑誌等を紹介しています

情報誌「サプライズ」2020年

3月号（サラヤ株式会社編集・発行）

に、手術看護認定看護師の佐々木光

隆看護係長が寄稿した。佐々木係長は本誌で、手術室の感染対策として、手術室の清潔保持とその実践についてまとめている。

患者の術野汚染を最小限にするため、医療従事者による手術時の手洗

い、ガウンの着脱方法、滅菌手袋の装着方法が正しく実践されることが重要であるとしている。また術中は、器械出し看護師の立ち位置や術者との距離を考慮する必要がある、それぞれのポイントを写真とともにわか

る。

りやすく解説している。

佐々木係長は、清潔・不潔は視覚的にわかるものではなく、医療従事者がその基準を確実に理解し、判断することが患者を感染から守ることにつながるかと締めくくっている。

（済生記者 西澤真由美）



職業経験を生かした 診療材料費の削減

〈大阪〉吹田病院

岩崎資材・施設管理課員

『病院羅針盤 第11巻第164号』の特集「コスト上昇を抑制し、適正価格で購入」に当院の岩崎課員が寄稿した。

これまで購入量の多い診療材料は医師、看護師やメディカルスタッフとともに、納入業者やメーカーと価格交渉を行ってきたが、他施設と比較すると高額な物品が多く、中には使用量は多いが価格が下がらないものもあった。筆者は納入業者が集約され、価格競争が働いていないことに着目、医療商社での勤務経験を

生かして価格交渉以外の点で価格競争ができる環境を構築した。

新規取引業者を調査し、眼科、循環器内科等の取引例を挙げ、また、流通経路を見直すため業者が病院へ物品を納入するまでの流れを調査するなどし、年間4500万円のコスト削減へつなげられた。同時に課題も見えてきた。今回の成果の背景にあるのは病院全体の協力とコスト意識の高さであると筆者は述べている。

（済生記者 橋本 茜）



医療安全管理委員会の進め方

〈大阪〉富田林病院

医療安全管理室 磯邊看護師長

隔月刊誌「病院安全教育」4・5月号（日経研出版発行）に当院医療



広告索引

麒麟ビバレッジ(株)
—— 表紙見返し [表紙 2]

アクサ生命保険(株)
富国生命保険(相)
日本生命保険(相)
第一生命保険(株)
大樹生命保険(株)
明治安田生命保険(相)
—— 裏表紙 [表紙 4]

次号予告

済生 No.1092
[令和2年6月号]

NEWSな済生人

〈埼玉〉なでしこメンタルクリニック
白石弘巳

済生会の不易流行論 (141)
炭谷 茂

この人 浅田美代子

済生会交差点

口福にっぽん (33)
白えびおぼろ昆布締め
(富山県・富山市)

てづくりおもちゃ いまいみさ

安全管理室の磯邊みどり看護師長が寄稿した。

テーマは「どうしていますか？医療安全委員会・安全カンファレンス」。当院の医療安全管理に関する組織体制や委員会の活動内容を紹介する。

（済生記者 玉手ひろみ）

大雑報

身の回りで起きた、さまざまなことを楽しく報告するコーナーです。職場の話でも、家庭の話でも、休日の話でも。ご報告ください。

笑(えみ)ちゃんデビュー！

当施設では、山形市から委託を受け、認知症初期集中支援事業及び認

知症地域支援推進員事業を「おれんじサポートチームえがお」の名称で行なっています。

平成27年から活動していますが、まだまだ地域の皆さんへの周知が行き届いていません。そこで、チームの周知拡大を目指してイメージキャラクターを作成することにしました。

平成30年11月、一職員の落書きから誕生し、時々、認知症予防教室のスライド等に登場していたキャラク



ターが、正式採用されました。名前は「笑（えみ）ちゃん」です。手作り缶バッジにプリントして関係機関の皆さんにお配りしたり、認知症予防教室の参加賞にしたり、パンフレットに載せたりと色々な所で活躍中の笑ちゃんです。「おれんじサポーターチームえがお」の看板娘をどうぞよろしくお願いします。

（山形・特養ながまち荘

保健師 船田真理子）

夫婦桜も頑張っています

森に囲まれ自然豊かな当院は桜の季節になると美しい光景が広がります。新型コロナウイルスの影響で今年はお花見を自粛していたので、仕事の行き帰りに見る桜がいつも以上に美しく感じました。

当院のシンボルツリーともいえる夫婦桜は、植え方が良くなかったためか弱って年々咲かせる花が少なくなっていました。少し寂しい感じでしたが今年は昨年以上に花を咲かせました。まるで「コロナに負けるな！がんばれ！」と言われているようで気を引き締めて今日も仕事に励んでいます。

（福岡・飯塚嘉穂病院

経営企画室 春口勇介）



済生会

明治44年2月11日、明治天皇は、時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施療救療による済生の道を広めるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日財団法人済生会を創立した。

以来今日まで108年、社会経済情勢の変化に伴い、存廃の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施療救療」という創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。

戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人財団法人済生会となっている。

総裁 秋篠宮皇嗣殿下
会長 有馬朗人
理事長 炭谷 茂

本部 東京 支部 40都道府県
病院 82

診療所 17

介護老人保健施設 30

救護施設 1

児童福祉施設 24

老人福祉施設 124

障害者福祉施設 7

看護師養成施設 8

訪問看護ステーション 58

地域包括支援センター 27

地域生活定着支援センター 5

その他 8

合計 391（数字は平成30年度）

さらに巡回診療船「済生丸」が瀬戸内海の62島の診療活動に携わっている。

職員数は全国で約6万2000人。

済 生

THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

令和2年5月10日発行

通巻第1091号（第96巻第5号）

編集兼
発行人 炭谷 茂

発行所 社会福祉法人財団法人済生会
〒108-0073
東京都港区三田1-4-28
三田国際ビルディング21階
TEL：03-3454-3311（代）
FAX：03-3454-5576

印刷所 株式会社白橋
東京都中央区八丁堀4-4-1

© 社会福祉法人財団法人済生会



https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing_now/nncj/

済生会の看護力が地域をつくる

看護職にフォーカス—— Nursing nowキャンペーン展開中

2020年はナイチンゲールが誕生して200年。世界保健機関（WHO）と国際看護師協会（ICN）が連携し、看護職が持つ可能性をさらに広げる世界的キャンペーンを繰り広げています。済生会の看護職も、地域をさらに健康にするため、医療機関の枠を越え福祉を支える活動へと踏み出しています。

済生会グループ保険のご案内

スケールメリットを活かした、
個人保険に比べて
割安な保険料で
大きな死亡保障を!!

グループ保険

〔災害割増特約・こども特約・
こども災害割増特約付福祉団体定期保険〕

(本人・配偶者・こども対象)

診査がなく(告知のみ)
手続きが簡単なうえ、
剰余金があれば
契約者配当金が戻ります。



① 終身医療保障プラン

〔手術給付特約・手術補完給付特約・
先進医療給付特約(12)・死亡保険金不担
保特約(入院保障保険(終身型 09)用)付
入院保障保険(終身型 09)〈60日型〉〕

② 医療保障プラン

〔高度先進医療給付特約・特定疾患給付
特約付医療給付金付個人定期保険〕

③ 総合医療あんしんプラン

〔総合医療保険(団体型)〕

(本人・配偶者・こども対象)

3つの保険より、
選択できます。



第二の人生を
充実させるために
今からご準備を!!

ゆうゆうライフプラン

〔拠出型企業年金保険、
医療給付金付個人定期保険〕

(本人のみ対象)



済生会グループ保険の次回一斉募集は
令和2年7月下旬頃にご案内予定です。



※このご案内は商品の概要を説明しています。ご契約の際には、「パンフレット」「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

〔グループ保険・ゆうゆうライフプラン引受保険会社〕

アクサ生命保険株式会社 [事務幹事会社]

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 富国生命保険相互会社

第一生命保険株式会社 大樹生命保険株式会社

明治安田生命保険相互会社

〔医療保険引受保険会社〕

アクサ生命保険株式会社 (終身医療保障プラン・医療保障プラン)

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 (総合医療あんしんプラン)

法人サービスセンター

電話 0120-563-925

【受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3はお取り扱いしておりません)】

〔グループ保険・ゆうゆうライフプラン・終身医療保障プラン・医療保障プラン取扱店〕

アクサ生命保険株式会社 公法人部

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7470

〔総合医療あんしんプラン担当営業部〕

日本生命保険相互会社 公務第一部

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 電話 03(5533)5086

Form No.0D2313(7.5) AXA-A1-1903-0342/9F7 2019.07.31(2019.11更新)